

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

- (1) 新設組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 2
 - ①新設組織の概要（名称、入学定員（編入学定員）、収容定員、所在地）
 - ②新設組織の特色

- (2) 人材需要の社会的な動向等・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 5
 - ①新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析
 - ②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析
 - ③新設組織の主な学生募集地域
 - ④既設組織の定員充足の状況

- (3) 学生確保の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 8
 - ①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果
 - ア 既設組織における取組とその目標
 - イ 新設組織における取組とその目標
 - ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数
 - ②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）
 - ③先行事例分析
 - ④学生確保に関するアンケート調査
 - ⑤人材需要に関するアンケート調査等

- (4) 新設組織の定員設定の理由・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 14

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 新設組織の概要

①新設組織の概要（名称、入学定員（編入学定員）、收容定員、所在地）

新設組織	入学定員	收容定員	所在地(教育研究を行うキャンパス)
機械制御工学科 (機械工学科)	45人 (40人)	225人 (200人)	長崎県佐世保市沖新町1番1号
情報知能工学科 (電子制御工学科)	45人 (40人)	225人 (200人)	長崎県佐世保市沖新町1番1号
化学・生物工学科 (物質工学科)	45人 (40人)	225人 (200人)	長崎県佐世保市沖新町1番1号

上段：新設組織、 下段：既設（改組前）組織

②新設組織の特色

機械工学科、電子制御工学科及び物質工学科を廃止し、機械制御工学科、情報知能工学科及び化学・生物工学科を新設する。入学定員は、既設学科を含むいずれの学科も従前の40名から5名増員し、45名としている。学位の分野は、いずれの学科も「工学」とする。

機械制御工学科

機械制御工学科（旧：機械工学科）は、学校開設時以降、メインとなる機械工学分野のカリキュラムを中心とした教育内容を維持してきたが、産業の変革や社会のニーズに踏まえる形で電子工学・メカトロニクス・制御工学などの教育も一部で行ってきた。今回の改組では、従来の機械工学分野と密接に連携しながら制御工学やその関連分野を拡充する教育課程を編成する。また、学校全体として情報教育の強化を図り、機械・制御を主としつつ、情報教育も強化した教育課程となる。このような背景から、新しく新設する機械制御工学科において養成する人材像を次のように定める。

【養成する人材像】

力学、設計、工作などのものづくりの基盤となる機械工学分野の幅広い基礎能力に加え、制御工学やロボット工学などの先進技術や情報制御技術を習得し、設計開発能力と自動化・ロボットシステムのデザイン能力を身につけた人材

情報知能工学科

情報知能工学科（旧：電子制御工学科）に関して、昨今、AIやIoTなどの情報技術は、加速度的に進歩しており、加えて、複数の分野を有機的につなげることにより、さまざまな分野で技術革新を起こす源となっている。そのため、このような社会情勢に対応できる情報人材を育成するための情報技術の修得に特化したカリキュラムを構築する。一方で、高度な情報技術の修得と同時に、それらの知識の本質、つまり、さまざまな社会課題に対して、適切に情報技術を活用できる力も必要である。このような背景から、新しく新設する情報知能工学科において養成する人材像を次のように定める。

【養成する人材像】

情報処理、情報通信ネットワーク、プログラミング、計算機工学等の技術に加え、セキュリティやデータ解析等の情報システム全体のデザイン能力と技術開発能力を身につけた人材

化学・生物工学科

化学・生物工学科（旧：物質工学科）は、化学と生物学を基礎としたものづくりに関する教育を行ってきた。化学工業分野で求められる無機化学、有機化学、分析化学、物理化学、化学工学に加え、バイオ技術の発展に伴い、生物化学や生物工学等のバイオ系の知識や技術に関する教育を行ってきた。今回の改組では、化学と生物学を基礎とした工学の教育を維持しつつ、統計や計算科学などの情報教育を強化した教育課程とする。また、学校全体として情報教育の強化を図り、化学・生物工学を主としつつ、情報教育も強化した教育課程となる。このような背景から、新しく新設する化学・生物工学科において養成する人材像を次のように定める。

【養成する人材像】

化学分野および生物分野の幅広い基礎能力に加え、応用化学や生物工学領域の先進技術を習得し、分析技術や情報解析技術を活用した課題探究能力を身につけた人材

増員（各学科5名、計20名）する学生について

【養成する人材像】

各学科で修得した専門科目に加え、異分野の情報・デジタル技術を掛け合わせることで、新たな技術や価値を創造できる人材

<選抜方法>

① 選抜名称： DIGI⁺（でじたす）特別選抜

② 内容

本選抜では、在籍中学校等の長から提出された調査書で、基礎学力が十分にある生徒の中から、本人の学習に対する意欲や本プログラムへの適性をエントリーシート、面接（情報分野に関する口頭試問又は筆記試験を含む）を評価して選抜することで、入学前の段階からデジタル・AI・半導体といった社会的要請が高い先端分野の情報教育を実施し、入学後につなげる体系的な教育プログラムにより、多様に変化する社会のニーズに対応し、将来にわたりグローバルに活躍できる技術者を育成することができる。

<卒業要件>

DIGI⁺（でじたす）の学生が情報系基盤技術教育プログラムにおいて、選択できる科目群を下表に示す。情報系基盤技術教育プログラム履修生は、通常の卒業要件となる単位に加え、選択科目の内、「A群から3単位以上」若しくは、「A群から2単位以上+B群から1単位以上」を修得することとしている。

[学則 別表第2 (教育課程表) より抜粋]

授業科目	単位数	形態	学年別単位数					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
			}						
選 択 科 目	ロジスティクス	1	履				1	A	4年・5年いずれかで選択可
	ロボット工学基礎	1	履				1	A	
	半導体工学概論	1	履				1	A	
	半導体製造プロセス	1	履				1	A	
	画像工学基礎	1	履				1	A	
	I o T 基礎	1	履				1	A	
	機器分析基礎	1	履				1	A	
	社会実装技術	1	履				1	A	
	離散数学	1	履				1	A	
	工場実習	2	履				2	A	
技術国際研修	1	履				1		<input type="checkbox"/> 各学年2単位 まで履修可 <input type="checkbox"/> 各学年2単位 まで履修可	
国際研修Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1		B
国際研修Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2		B
イノベーション創成Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1		B
イノベーション創成Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2	B	

(2) 人材需要の社会的な動向等

①新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

機械制御工学科

機械工学科は機械工学を基礎としたものづくりについての知識や技術を教授し、多くの卒業生を輩出してきた。卒業生は特定の分野に偏ることなく産業界のあらゆる分野で活躍しており、このような人材を養成することは改組して機械制御工学科となっても同様である。また、AI や半導体などの情報技術は、加速度的に進歩しており、加えて、複数の分野を有機的につなげることにより、さまざまな分野で技術革新を起こす源となっている。そのため、このような社会情勢に対応できる情報人材を育成するための情報技術を強化したカリキュラムを構築することが急務である。一方で、情報技術の修得と同時に、それらの知識の本質、つまり、さまざまな社会課題に対して、適切に機械工学・制御工学の技術や情報技術を活用できる力も必要である。このような力の育成には、座学による教育のみでは難しく、また、社会課題を扱うためには、企業との連携が重要となる。これらは、西九州テクノコンソーシアム（NTC:西九州地域の産学連携組織で、佐世保高校長が会長を務めている組織）の会員企業に対するアンケートからも同様の声がうかがえる。

情報知能工学科

昨今、AI や IoT などの情報技術は、加速度的に進歩しており、加えて、複数の分野を有機的につなげることにより、さまざまな分野で技術革新を起こす源となっている。そのため、このような社会情勢に対応できる情報人材を育成するための情報技術の修得に特化したカリキュラムを構築することが急務である。一方で、高度な情報技術の修得と同時に、それらの知識の本質、つまり、さまざまな社会課題に対して、適切に情報技術を活用できる力も必要である。このような力の育成には、座学による教育のみでは難しく、また、社会課題を扱うためには、企業との連携が重要となる。これらは、西九州テクノコンソーシアム（NTC:西九州地域の産学連携組織で、佐世保高校長が会長を務めている組織）の会員企業に対するアンケートからも同様の声がうかがえる。

なお、企業と連携し社会課題に取り組む過程において、共同研究へと発展することも十分に考えられる。

化学・生物工学科

物質工学科は化学・生物学を基礎としたものづくりについての知識や技術を教授し、多くの卒業生を輩出してきた。化学工業分野、製薬分野、食品分野等において製造、生産技術開発、分析品質管理、研究開発等で活躍しており、このような人材を養成することは改組して化学・生物工学科となっても同様である。また、AI や半導体などの情報技術は、加速度的に進歩しており、加えて、複数の分野を有機的につなげることにより、さまざまな分野で技術革新を起こす源となっている。そのため、このような社会情勢に対応できる情報人材を育成するための情報技術を強化したカリキュラムを構築することが急務である。一方で、情報技術の修得と同時に、それらの知識の本質、つまり、さまざまな社会課題に対して、適切に化学・生物学の技術や情報技術を活用できる力も必要である。このような力の育成には、座学による教育のみでは難しく、また、社会課題を扱うためには、企業との連携が重要となる。これらは、西九州テクノコンソーシアム（NTC:西九州地域の産学連携組織で、佐世保高校長が会長を務めている組織）の会員企業に対するアンケートからも同様の声がうかがえる。

②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

長崎県及び佐賀県の 15 歳人口の推移を【資料 3】に示す。長崎県及び佐賀県の 15 歳人口、つまり、佐世保高専を受験する年代の人口の推移をみると、大きく変化することがないことがわかる。したがって、佐世保高専を希望する中学生が大きく減少することはないと考えられる。

佐世保高専で実施している一日体験入学の参加者数と志願者数にはおおむね相関があり、【資料 4】に示す参加者数の推移をみると、一日体験入学の参加者数は近年大きく変化していないことから、佐世保高専を希望する中学生が大きく減少することはないと考えられる。

しかしながら、佐世保高専の教育内容が変わらなければ、希望者は減少していくことは容易に考えられ、社会情勢に合わせ教育内容をアップデートし、受験希望者に魅力ある教育を提供できるように努める必要がある。

<地域特性、社会的背景>

本校の所在地である長崎県佐世保市は、九州西北部の沿岸部に位置し、商業・サービス産業を主力とする都市であるが、その一方で、地理的特性を生かして水産業や造船業が盛んな都市である。しかしながら、全国的にも問題となっている少子高齢化の進行や都市圏への人口流出による生産人口の減少は、同市においても深刻な状況であり、いずれの産業においても慢性的な人手不足になっている。さらに加えて、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により同市を取り巻く社会経済情勢は更に大きく変化しており、今後 10 年において、とりわけ第 1 次産業である農水産業や第 2 次産業の製造業においては、労働力不足が深刻となり、従来の操業形態を維持したままでは市内総生産額は減少し、引いては地域経済の縮小になるほか、インフラの老朽化など様々な影響が加速的に進むものと懸念されている。同市においてもこうした課題の解決に向け、近年注目されている DX 化、Society 5.0 実装に取り組むことにより、人口減少下にあっても、労働生産性の向上を図ることで、一人当たりの付加価値額（稼ぐ力）を増やし、持続可能な社会の構築に向けて取り組むことが必要とされている。

また、長崎市、佐世保市では、従来、造船業を主要産業とした産業クラスターが形成されている。特に佐世保市は、海上自衛隊や米海軍の基地があり、艦船の造修部門を含めて造船事業が盛んとなり、そこから派生した中小企業が高度な技術を活用し様々な分野で特質のある企業として成長してきている。しかしながら、ここ 10 年は世界的な船腹過剰や供給力過剰、中国や韓国の造船企業による低船価攻勢による競争激化等で、厳しい経営状況が続いている。その結果、市内の主要造船企業では、新造船事業の休止を決定し、修繕船事業を柱とした事業再構築に取り組むこととされており、関連する中小企業も含めて技術の変革が現下において求められている。

さらに、長崎県では半導体関連産業も基幹産業の 1 つとなっており、近年県内への企業誘致や事業拡大に必要な立地インフラの整備、サプライチェーン構築が推進されている。このような中で、国において、令和 3 年 6 月に「半導体・デジタル産業戦略」が策定され、半導体の生産・供給能力の確保について、国家事業として取り組むことが示された。長崎県では令和 4 年 2 月に本校も含めた 18 団体からなる産学官の連携組織である「ながさき半導体ネットワーク」を設立し、半導体人材の育成・確保を強力に推進し、県内半導体関連産業の振興につなげることとなっている。高専機構においては、令和 2 年度から、Society 5.0 により実現する未来技術をリードする高専発！

「Society 5.0 型未来技術人財」育成事業を進めているが、この中に半導体分野を令和4年度より追加し、本校が全国の高専の拠点校となり、半導体人材の育成を進めている。

このように当地域は、これまでの主要産業であった造船関連業の低迷、労働力不足、1次産業の担い手不足等に悩まされていると同時に、国家事業として取り組むことになった半導体・デジタル産業に対応した人材の育成を推進しなければならない状況にある。今後も持続可能な地域となるためにも、AI、IoT、Robot、サイバーセキュリティ、半導体等の情報系技術を活用した産業のスマート化を推進し、働きやすい環境を構築して人材の確保を進めるとともに、若者の人材育成を推進して定着する地域にしていく必要がある。これらに早急に着手し、地域全体の解決課題として取り組む必要があり、それらの技術に対応した高等教育機関の機能と人材の育成が強く望まれている。

このような高等教育を取り巻く社会環境の変化や動向などを踏まえたうえで、本校において、AIやIoTなどの情報分野の基礎から応用までを修得し、急速なIT技術の変化に対応できる知識と応用力を身につけた実践型高度情報技術者を養成するために、令和7年4月から情報知能工学科を設置するとともに、他の3学科においても養成規模の拡充を図ることとした。

また、特別選抜で入学する学生を高度情報系のトップ人材として育成することにより、特別選抜以外で入学する学生にとっても、良い影響を与えることにつながり、さらなる情報系人材育成規模の拡大につながることを期待できる。

③新設組織の主な学生募集地域

長崎県（濃青）、佐賀県（橙）、福岡県（灰）、福岡県福岡地域（緑）、福岡県筑後地域（薄青）の15歳人口の推移を【資料3】に示す。長崎県、佐賀県においては、減少傾向にあることが分かる。このことから、長崎県（すべての中学校）、佐賀県（過去に受験実績のある学校など）の中学校を対象に、2024年3月から7月の期間に訪問し、生徒または進路指導の先生に対する説明会を実施する。一方、これまで福岡県西部の福岡地域や筑後地域に対する広報活動は行っていないが、【資料3】に示すように、それらの地域において15歳人口は増加傾向にある。これらのことから、福岡地域における広報活動を、長崎・佐賀地域と同様に実施する。また、福岡県の3高専で行われている合同高専説明会に参加したり、中学校で開催されている高校説明会にも参加する。さらに、新しい教育課程や学科の特徴をまとめた資料を作成し、長崎、佐賀、福岡の全中学校に配布する。

佐世保高専で実施している一日体験入学の参加者数と志願者数にはおおむね相関があり、【資料4】に示す参加者数の推移をみると、参加者数は大きく変化していない。また、【資料2】に示すように、志望する学科に関係なく、情報技術を身に着けたい学生が97%を占めており、新しい情報知能工学科の情報教育内容の発信、佐世保高専全体が情報技術を強化することを広報する。

しかしながら、佐世保高専の教育内容が変わらなければ、希望者は減少していくことは容易に考えられ、社会情勢に合わせ教育内容をアップデートし、受験希望者に魅力ある教育を提供できるように努める必要がある。

④既設組織の定員充足の状況

別紙2「既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）」のとおり。

(3) 学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

- ア 既設組織における取組とその目標
- イ 新設組織における取組とその目標
- ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

<学生確保に向けた具体的な取組状況>

㊦既設学科（専攻）の入学試験の概略

推薦入試(12月) 定員の60%(24名)

学科ごとに集団面接(4名ずつ)

調査書と面接による総合評価

一般入試(2月) 定員の40%(16名)

学力試験(国語、数学、理科、社会、英語)

調査書と学力試験による総合評価

㊦学生確保に向けた具体的な取組状況

8月中旬に実施している一日体験入学では、中学生を対象に、各学科の教育内容を代表するテーマについて体験を通して理解を深める取り組みを実施している。全学科を体験することで、入学後のミスマッチを小さくできる。

7月から9月には、さまざまな公開講座を実施(令和5年度は件)し、専門科目および一般科目におけるさまざまなテーマの体験を通し、小中学生の科学やものづくりに関する興味増進を図っている。

本校1年生を、夏休み期間を利用して、母校を訪問させ、中学校の先生や後輩などに、自分自身の体験を通じて高専の特徴を話させるキャンパス大使活動を行っている。身近な先輩が、立派に説明する姿を中学生に見せることで、自らのキャリアパスを意識させ、受験者増につなげている。中学校の先生からの評判も良好である。

地域貢献の一環として、コミュニティーセンターや科学館などに出向いて、科学実験やものづくり教室を行っている(令和4年度は55件実施)。出前授業には、小中学生と一緒に保護者も参加していることから、高専の特徴を説明したり、広報用パンフレットを配布するなど、高専の周知を行っている。

一日体験入学、公開講座、出前授業など、多くの科学イベントにおいて、それぞれのテーマについての説明は、教員ではなく学生にさせている。これにより、小中学生およびその保護者に対して、小中学生の近い将来の成長した姿を見せることができる。

小中学生がスマホを持つようになるなど、情報セキュリティに関する教育が重要となっている。そこで、情報セキュリティについて学んでいる学生が、小中学校に出向き、情報セキュリティについての授業を行うことで、小中学生が、高専で学ぶことができる知識について知ると同時に、自らの成長する姿を見ることで、高専および情報教育に関する興味増進を図っている。

中学校に、本校教員および学生が出向き、高専の教育内容や特徴、ならびに、学生の視点からの学生生活などについて説明する活動を行っている。また、高専志願者およびその保護者、中学校教員、学習塾講師を対象とする高専の教育内容についての説明会を開催している。

<定員充足の見込み>

機械工学科、電子制御工学科及び物質工学科を廃止し、機械制御工学科、情報知能工学科及び化学・生物工学科を新設する。入学定員は、既設学科を含むいずれの学科も従前の40名から総合型選抜入試による入学者5名増員し、45名としている。

各学科の全志願者数、推薦志願者数、入学者数、推薦合格者数（令和元年度～5年度）を【資料1】に示す。この資料を見て分かる通り、いずれの学科においても、第一希望での志願者数が45名を上回っており、定員充足できると言える。また、本校は第二希望、第三希望も選択できるようにしていることから、この人数も含めると、延べ人数ながら全ての学科において45名を大きく超える志願者があり、定員充足は十分にできることが見込まれる。

機械制御工学科

【資料1】に、令和元年～5年までの機械工学科の全志願者数、推薦志願者数、合格者数、推薦合格者数を示す。過去5年間の平均入試倍率は1.18倍と、志願者は比較的多く、定員を45名とした場合においても、十分に満たすことができると考えられる。

【資料2】は、令和5年一日体験入学参加希望者（中学生）に対するアンケート結果を示している。本校の一日体験入学は全学科を見学するプログラムとなっているため、参加申込の際にとったこのアンケートは志望する学科に関係なく参加する全員を対象にとったアンケート結果ということになる。志望する学科に関係なく、情報技術を身に着けたい学生が97%を占めており、また、約70%の参加希望者がAIに関する知識を身に着けたいと回答し、約45%の参加希望者が半導体に関する知識を身に着けたいと回答している。AIは制御工学分野は言うまでもなく機械工学分野でも急速に利用が広まっており、半導体の製造には機械工学や制御工学が不可欠である。後述する社会ニーズだけでなく、入口側の中学生も、AIや半導体等を含めた情報教育に高い関心を示していると言える。

現在の機械工学科や電子制御工学科に対する求人倍率は高く、機械と制御の教育内容を統合した機械制御工学科に対しても多くの求人が見込まれる。これまでの40名は維持しつつ、情報系人材の社会ニーズに対応し、機械制御工学を専門としつつ情報・デジタル系の素養も身に着けた人材を社会へ輩出するために5名増とする。

以上のことから、主となる機械工学に加えて制御工学がこれからのものづくりを行う学科であることを明確化するために改組し、AIや半導体等を含めた情報教育を強化することにより、定員を5

名増やして 45 名とした場合においても定員を上回る受験者を確保でき、定員を充足できると考えている。

情報知能工学科

既設の電子制御工学科は、佐世保高専において最も情報系の教育を行っていたが、入学者の希望および地域企業からの要望、また、社会情勢を鑑みて、情報工学に特化した学科を新設する。

【資料 1】に、令和元年～5 年までの電子制御工学科の全志願者数、推薦志願者数、合格者数、推薦合格者数を示す。過去 5 年間の平均入試倍率は 1.8 倍である。これまで、情報系の技術者になる夢を持った中学生は、電子制御工学科を志望しており、改組においてより魅力的な情報教育を受けられるようになることから、引き続き情報知能工学科を志望すると考えられる。加えて、これまで電子制御工学科を志望していなかった中学生が、受験を志望することも考えられる。一方で、電子制御工学科のカリキュラムの内、電気系・制御系を減らすため、電子制御工学科を第一希望としていた中学生が、機械制御工学科や電気電子工学科に変更することも考えられる。

【資料 2】は、令和 5 年一日体験入学参加希望者（中学生）に対するアンケート結果を示している。本校の一日体験入学は全学科を見学するプログラムとなっているため、参加申込の際にとったこのアンケートは志望する学科に関係なく参加する全員を対象にとったアンケート結果ということになる。志望する学科に関係なく、情報技術を身に着けたい学生が 97%を占めており、また、約 70%の参加希望者が AI に関する知識を身に着けたいと回答している。後述する社会ニーズだけでなく、入口側の中学生も、AI や半導体等を含めた情報教育に高い関心を示していると言える。

情報系に特化した人材の社会ニーズに対応し、情報・デジタル系の素養も身に着けた人材を社会へ輩出するために 5 名増して 45 名とする。

以上のことから、AI や IoT に関する教育を強化した情報知能工学科を新設し、定員を 5 名増やし、45 名としたとしても、定員を上回る受験者を確保でき、定員を充足できると考えている。

化学・生物工学科

【資料 1】に、令和元年～5 年までの物質工学科の全志願者数、推薦志願者数、合格者数、推薦合格者数を示す。過去 5 年間の平均入試倍率は 1.4 倍と、志願者は比較的多く、定員を 45 名とした場合においても、十分に満たすことができると考えられる。

【資料 2】は、令和 5 年一日体験入学参加希望者（中学生）に対するアンケート結果を示している。本校の一日体験入学は全学科を見学するプログラムとなっているため、参加申込の際にとったこのアンケートは志望する学科に関係なく参加する全員を対象にとったアンケート結果ということになる。志望する学科に関係なく、情報技術を身に着けたい学生が 97%を占めており、また、約 70%の参加希望者が AI に関する知識を身に着けたいと回答し、約 45%の参加希望者が半導体に関する知識を身に着けたいと回答している。AI は化学・生物学分野でも急速に利用が広まっており、半導体の素材の基礎知識には化学や材料学が不可欠である。後述する社会ニーズだけでなく、入口側の中学生も、AI や半導体等を含めた情報教育に高い関心を示していると言える。

化学と生物を基礎とした工学について学ぶ現在の物質工学科に対する求人倍率は高く、化学・生物工学科に対しても多くの求人が見込まれる。これまでの 40 名は維持しつつ、情報系人材の社会ニーズに対応し、化学・生物工学を専門としつつ情報・デジタル系の素養も身に着けた人材を社会へ輩出するために 5 名増とする。

以上のことから、主となる化学・生物学が基礎となるものづくりを行う学科であることを明確化して化学・生物工学科を設置し、AI や半導体等を含めた情報教育を強化することにより、定員を5名増やして45名とした場合においても定員を上回る受験者を確保でき、定員を充足できると考えている。

<定員充足の根拠となる客観的なデータの概要>

長崎県（濃青）、佐賀県（橙）、福岡県（灰）、福岡県福岡地域（緑）、福岡県筑後地域（薄青）の15歳人口の推移を【資料3】に示す。長崎県、佐賀県においては、減少傾向にあることが分かる。このことから、長崎県（すべての中学校）、佐賀県（過去に受験実績のある学校など）の中学校を対象に、2024年3月から7月の期間に訪問し、生徒または進路指導の先生に対する説明会を実施する。一方、これまで福岡県西部の福岡地域や筑後地域に対する広報活動は行っていないが、【資料3】に示すように、それらの地域においては15歳人口は増加傾向にある。これらの地域における広報活動を、長崎・佐賀地域と同様に実施する。また、福岡県の3高専で行われている合同高専説明会に参加したり、中学校で開催されている高校説明会にも参加する。さらに、新しい教育課程や学科の特徴をまとめた資料を作成し、長崎、佐賀、福岡の全中学校に配布する。

佐世保高専で実施している一日体験入学の参加者数と志願者数にはおおむね相関があり、【資料4】に示す参加者数の推移をみると、参加者数は大きく変化していない。また、【資料2】に示すように、志望する学科に関係なく、情報技術を身に着けたい学生が97%を占めており、新しい情報知能工学科の情報教育内容の発信、佐世保高専全体が情報技術を強化することを広報する。

しかしながら、佐世保高専の教育内容が変わらなければ、希望者は減少していくことは容易に考えられ、社会情勢に合わせ教育内容をアップデートし、受験希望者に魅力ある教育を提供できるように努める必要がある。

②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

学問分野の類似性で比較した場合、長崎県内には、長崎工業高校、島原工業高校、大村工業高校、佐世保工業高校、鹿町工業高校が比較対象となる。これらの高校の偏差値は、【資料8】に示すとおり、それぞれ、長崎55、島原45、大村49、佐世保52、鹿町42となっており、佐世保高専66と比較すると、島原・大村・佐世保・鹿町工業高校とは受験者層は異なる。長崎工業高校とは、受験者層がやや近いが、佐世保市と長崎市は直線距離で約46km離れており、鉄道を利用した場合2時間以上を通学に要するため、受験者層の重なりは比較的小さい。

一方、所在地および学力層で比較した場合、佐世保北高校、佐世保南高校、佐世保西高校が比較対象となる。それぞれの偏差値を見ると、佐世保北62、佐世保南60、佐世保西58となっており、佐世保高専66とやや近いものの、普通科または分離探求科のみの設置となっており、受験者層は異なる。

他方、近隣の工業高等専門学校を比較すると、最も近いのは福岡県の久留米高専である（佐賀県には高専が設置されていない）。久留米高専には、機械工学会、電気電子工学科、制御情報工学科、生物応用化学科、材料システム工学科が設けられている。佐世保高専は、機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、物質工学科となっており、学科構成、および、それぞれの学科のカリキュラムは、概ね類似しており、育成する人材像についても概ね同じである。しかしながら、直線距離で約75km離れていることから、競合校とはならない。

佐世保高専は、実践的な技術者を育成することを目的としており、高度な理論と実践を一体とした教育を行っている。一方、工業高校は、基礎的な理論と技能の習得を行う教育となっている。

以上のような理由により、佐世保高専と直接的に競合関係にある普通高校・工業高校・高等専門学校は見当たらないと考えられる。

また、長崎県内における競合校の今後の定員の増減については、【資料9】直近の「長崎県公立高等学校・県立中学校生徒募集定員（令和5年度、令和6年度）」から見ても、競合校が定員増を行っている高校はなく、今後の定員増の計画もないものと推察される。

③先行事例分析

該当なし。

④学生確保に関するアンケート調査

【資料1】に、各学科の令和元年～5年までの全志願者数、推薦志願者数、合格者数、推薦合格者数を示す。過去5年間の平均入試倍率は1.18倍と、志願者は比較的多く、定員を45名とした場合においても、十分に満たすことができると考えられる。【資料2】は、令和5年一日体験入学参加希望者（中学生）に対するアンケート結果を示している。本校の一日体験入学は全学科を見学するプログラムとなっているため、参加申込の際にとったこのアンケートは志望する学科に関係なく参加する全員を対象にとったアンケート結果ということになる。志望する学科に関係なく、情報技術を身に着けたい学生が97%を占めており、また、約70%の参加希望者がAIに関する知識を身に着けたいと回答し、約45%の参加希望者が半導体に関する知識を身に着けたいと回答している。

機械制御工学科

AIは制御工学分野は言うまでもなく機械工学分野でも急速に利用が広まっており、半導体の製造には機械工学や制御工学が不可欠である。後述する社会ニーズだけでなく、入口側の中学生も、AIや半導体等を含めた情報教育に高い関心を示していると言える。

情報知能工学科

後述する社会ニーズだけでなく、入口側の中学生も、AIや半導体等を含めた情報教育に高い関心を示していると言える。

化学・生物工学科

AIは化学・生物学分野でも急速に利用が広まっており、半導体の素材の基礎知識には化学や材料学が不可欠である。後述する社会ニーズだけでなく、入口側の中学生も、AIや半導体等を含めた情報教育に高い関心を示していると言える。

⑤人材需要に関するアンケート調査等

機械制御工学科

機械工学科を機械制御工学科へ改組するが、機械工学を基礎としたものづくりについて学ぶことを主とした学科であることは改組前と同様である。現在の機械工学科の5年生の就職希望者20名に対する求人数（令和5年7月時点）は1256件あり、求人倍率63倍である。学科名を変更しても社会からの人材需要は十分にあると言える。また、情報系人材に関しては、令和4年5月「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について第一次提言（教育未来創造会議）」において、2030年には先端IT人材が54.5万人不足する（経済産業省委託調査「IT人材需給に関する調査報告書

（みずほ情報総研株式会社）」（2019年3月）と報告されている。多くの分野において情報系人材の需要が高まっていると言える。

地域的な情報系人材の需要として、NTC 会員企業に対して行ったアンケート結果（【資料5】）では、75%の企業において情報系人材が不足していると回答し、機械系分野においても情報系人材が多く必要とされていることがわかる。

また、機械工学や制御工学分野の情報教育という点でいうと、経済産業省の『必要な人材像とキャリア構築支援に向けた検討ワーキング・グループ（人材像ワーキング・グループ）（第3回 平成29年11月27日）』における資料（【資料6】）において「各業界における環境変化と求められる人材像 ②求められる人材・スキル」が示されており、機械工学や制御工学が特に関係する生産用機械、航空、自動車といった産業において、IoT/アナリティクス、自動化・ロボティクス、サイバーセキュリティ、自動制御、組込 SW について重要なスキルであるとされている。

上記より、社会的、地域的に機械工学や制御工学および情報系を強化した人材の需要は益々増加していることは明らかである。本改組により本校から社会や地域へ機械工学や制御工学および情報系を強化した人材を輩出することが急務であると言える。

情報知能工学科

この改組により、電子制御工学科を廃止し、情報知能工学科を新設する。現在の電子制御工学科の5年生に対する求人数（令和5年7月末時点）は、1552件であり、情報知能工学科に改組し、AIやITなど高度な情報系技術を身につけるカリキュラムにすることで、ますます求人数は増えるものと考えられる。なお、令和4年5月「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について第一次提言（教育未来創造会議）」では、2030年には先端IT人材が54.5万人不足すると報告されている。また、NTC 会員企業に対するアンケート結果（【資料5】）から、75%の企業が情報系人材が不足していると回答しており、本改組により輩出される情報系人材の採用が加速されると思われる。地域的な情報系人材の需要として、NTC 会員企業に対して行ったアンケート結果（【資料5】）では、75%の企業において情報系人材が不足していると回答している。

化学・生物工学科

物質工学科を化学・生物工学科へ改組するが、化学・生物学を基礎としたものづくりについて学ぶことを主とした学科であることは改組前と同様である。現在の物質工学科の5年生の就職希望者25名に対する求人数（令和5年7月末時点）は1119件あり、求人倍率43倍である。学科名を変更しても社会からの人材需要は十分にあると言える。また、情報系人材に関しては、令和4年5月「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について第一次提言（教育未来創造会議）」において、2030年には先端IT人材が54.5万人不足する（経済産業省委託調査「IT人材需給に関する調査報告書（みずほ情報総研株式会社）」（2019年3月））と報告されている。多くの分野において情報系人材の需要が高まっていると言える。

地域的な情報系人材の需要として、NTC 会員企業に対して行ったアンケート結果（【資料5】）では、75%の企業において情報系人材が不足していると回答している

また、化学・生物学分野の情報教育という点でいうと、経済産業省の『必要な人材像とキャリア構築支援に向けた検討ワーキング・グループ（人材像ワーキング・グループ）（第3回 平成29年11月27日）』における資料（【資料6】）において「各業界における環境変化と求められる人材像 ②

求められる人材・スキル」が示されており、化学の分野におけるスキルとして、「IoT/アナリティクス」が特に重要とされており、自動化・ロボティクスおよびサイバーセキュリティについても重要なスキルであるとされている。さらに、生物学分野ではコンピュータを使って生命情報を研究するバイオインフォマティクス分野があり、この分野の学術論文の数がこの20年の間に急上昇している【資料7】。学術的にも、化学・生物学において情報技術が不可欠となっている。

上記より、社会的、地域的に化学・生物工学および情報系を強化した人材の需要は益々増加していることは明らかである。本改組により本校から社会や地域へ化学・生物工学および情報系を強化した人材を輩出することが急務であると言える。

(4) 新設組織の定員設定の理由

<以前行った改組>

佐世保高専は、昭和37年度に機械工学科2学級（定員80名）、電気工学科1学級（定員40名）の3学級（定員120名）で発足したが、昭和41年度に工業化学科1学級（定員40名）を増設し、3学科4学級（定員160名）の体制が続いた。その後、ものづくり産業における自動化の流れに対応するため、昭和63年度に機械工学科2学級のうちの1学級を電子制御工学科に改組した。また、バイオ技術の発展に伴い、医薬工業や食品工業、農林水産業界においてバイオ系の基礎知識を有する技術者のニーズが高まり、平成3年に工業化学科を物質工学科に改組した。平成17年に電気工学科を電気電子工学科へ変更した。

<地域特性、社会的背景>

本校の所在地である長崎県佐世保市は、九州西北部の沿岸部に位置し、商業・サービス産業を主力とする都市であるが、その一方で、地理的特性を生かして水産業や造船業が盛んな都市である。しかしながら、全国的にも問題となっている少子高齢化の進行や都市圏への人口流出による生産人口の減少は、同市においても深刻な状況であり、いずれの産業においても慢性的な人手不足になっている。さらに加えて、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により同市を取り巻く社会経済情勢は更に大きく変化しており、今後10年において、とりわけ第1次産業である農水産業や第2次産業の製造業においては、労働力不足が深刻となり、従来の操業形態を維持したままでは市内総生産額は減少し、引いては地域経済の縮小になるほか、インフラの老朽化など様々な影響が加速度的に進むものと懸念されている。同市においてもこうした課題の解決に向け、近年注目されているDX化、Society5.0実装に取り組むことにより、人口減少下にあっても、労働生産性の向上を図ることで、一人当たりの付加価値額（稼ぐ力）を増やし、持続可能な社会の構築に向けて取り組むことが必要とされている。

また、長崎市、佐世保市では、従来、造船業を主要産業とした産業クラスターが形成されている。特に佐世保市は、海上自衛隊や米海軍の基地があり、艦船の造修部門を含めて造船事業が盛んとなり、そこから派生した中小企業が高度な技術を活用し様々な分野で特質のある企業として成長してきている。しかしながら、ここ10年は世界的な船腹過剰や供給力過剰、中国や韓国の造船企業による低船価攻勢による競争激化等で、厳しい経営状況が続いている。その結果、市内の主要造船企業では、新造船事業の休止を決定し、修繕船事業を柱とした事業再構築に取り組むこととされており、関連する中小企業も含めて技術の変革が現下において求められている。

さらに、長崎県では半導体関連産業も基幹産業の1つとなっており、近年県内への企業誘致や事業拡大に必要な立地インフラの整備、サプライチェーン構築が推進されている。このような中で、国において、令和3年6月に「半導体・デジタル産業戦略」が策定され、半導体の生産・供給能力の確保について、国家事業として取り組むことが示された。長崎県では令和4年2月に本校も含めた18団体からなる産学官の連携組織である「ながさき半導体ネットワーク」を設立し、半導体人材の育成・確保を強力に推進し、県内半導体関連産業の振興につなげることとなっている。高専機構においては、令和2年度から、Society 5.0により実現する未来技術をリードする高専発！「Society 5.0型未来技術人財」育成事業を進めているが、この中に半導体分野を令和4年度より追加し、本校が全国の高専の拠点校となり、半導体人材の育成を進めている。このように当地域は、これまでの主要産業であった造船関連業の低迷、労働力不足、1次産業の担い手不足等に悩まされていると同時に、国家事業として取り組むことになった半導体・デジタル産業に対応した人材の育成を推進しなければならない状況にある。今後も持続可能な地域となるためにも、AI、IoT、Robot、サイバーセキュリティ、半導体等の情報系技術を活用した産業のスマート化を推進し、働きやすい環境を構築して人材の確保を進めるとともに、若者の人材育成を推進して定着する地域にしていく必要がある。これらに早急に着手し、地域全体の解決課題として取り組む必要があり、それらの技術に対応した高等教育機関の機能と人材の育成が強く望まれている。

このような高等教育を取り巻く社会環境の変化や動向などを踏まえたうえで、本校において、AIやIoTなどの情報分野の基礎から応用までを修得し、急速なIT技術の変化に対応できる知識と応用力を身につけた実践型高度情報技術者を養成するために、令和7年4月から情報知能工学科を設置するとともに、他の3学科においても養成規模の拡充を図ることとした。

また、特別選抜で入学する学生を高度情報系のトップ人材として育成することにより、特別選抜以外で入学する学生にとっても、良い影響を与えることにつながり、さらなる情報系人材育成規模の拡大につながることが期待できる。

資料目次

【資料 1】各学科の全志願者数、推薦志願者数、合格者数、推薦合格者数（令和元年度～5 年度）

【資料 2】令和 5 年一日体験入学参加希望者（中学生）に対するアンケート結果

【資料 3】長崎県及び佐賀県の 15 歳人口の推移

長崎県、佐賀県、福岡県、福岡県福岡地域、福岡県筑後地域の 15 歳人口の推移

【資料 4】一日体験入学参加者数（令和元年度～5 年度）

【資料 5】NTC（西九州テクノコンソーシアム）会員企業に対するアンケート調査結果（令和 5 年 7 月）

【資料 6】経済産業省の『必要な人材像とキャリア構築支援に向けた検討ワーキング・グループ（人材像ワーキング・グループ）（第 3 回 平成 29 年 11 月 27 日）』資料

【資料 7】日本バイオインフォマティクス学会 HP

【資料 8】2024 年度 長崎県公立高校・高専 合格偏差値

佐世保高専（佐世保市）と近隣高専との地理的距離

【資料 9】長崎県公立高等学校・県立中学校生徒募集定員（令和 5 年度、令和 6 年度）

「別紙 2-1」 既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）_機械工学科

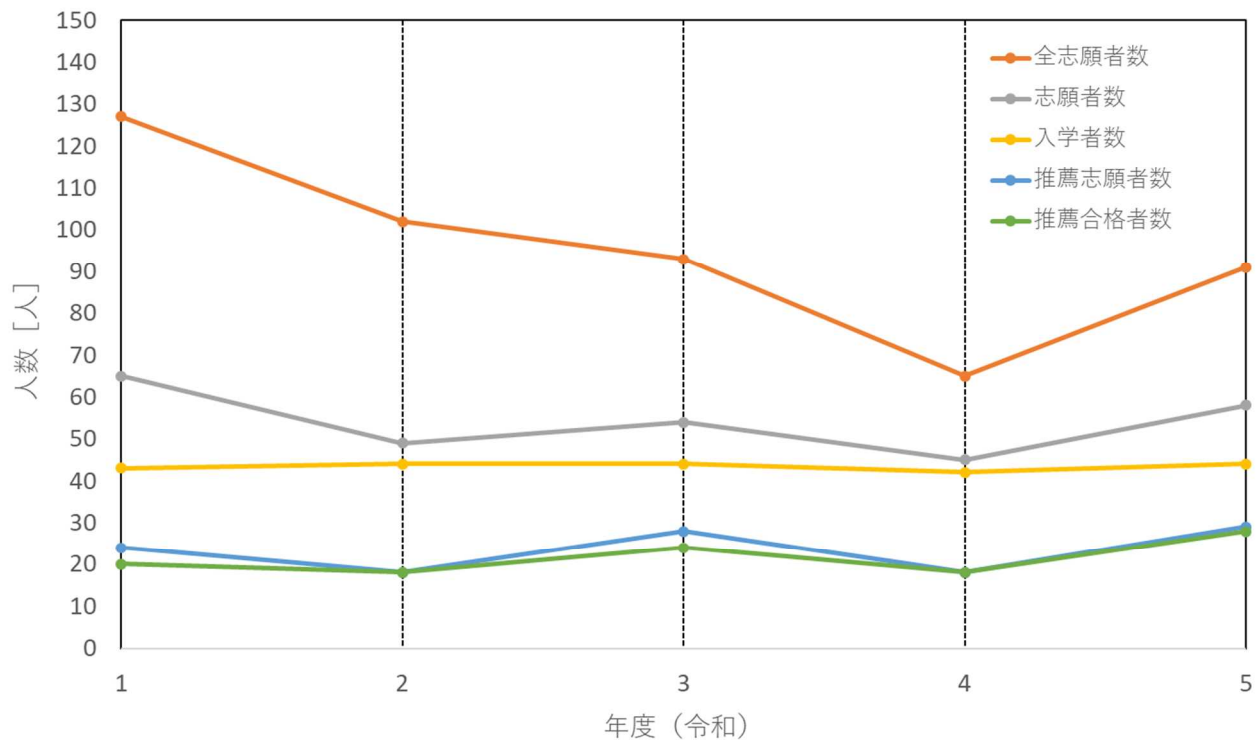
「別紙 2-2」 既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）_電気電子工学科

「別紙 2-3」 既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）_電子制御工学科

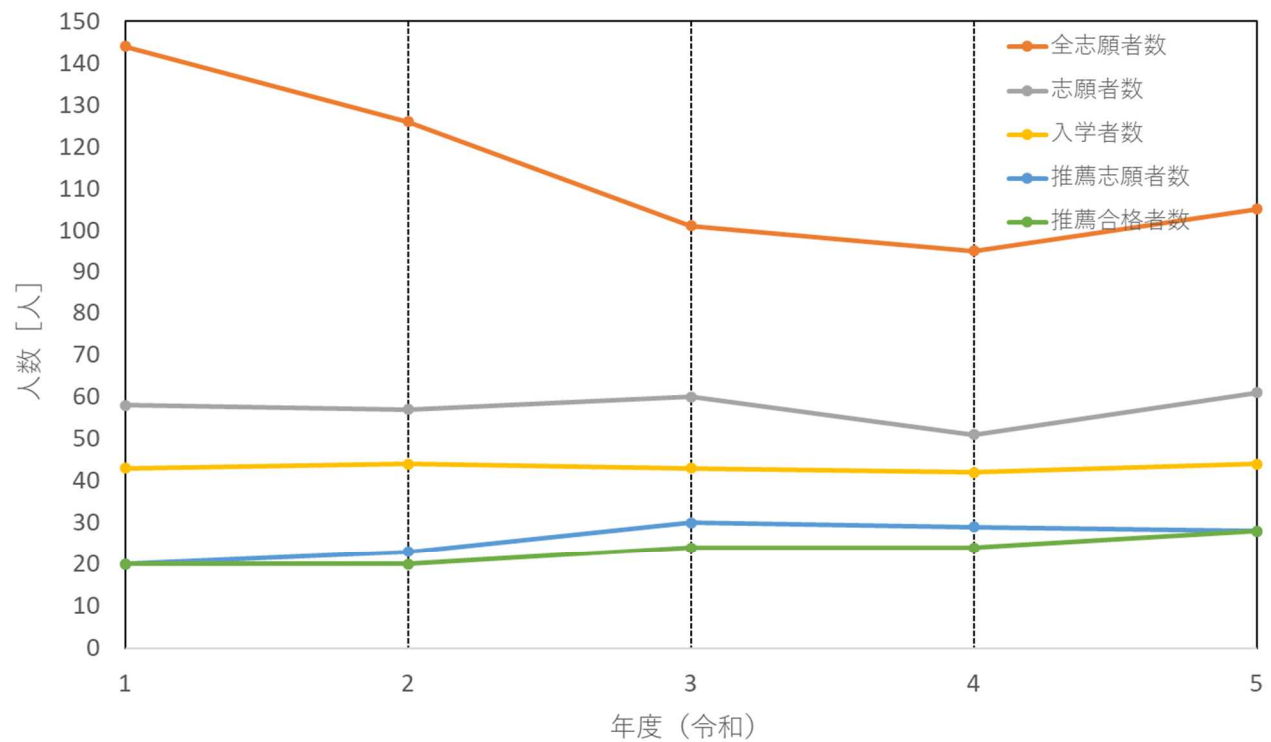
「別紙 2-4」 既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）_物質工学科

【資料1】

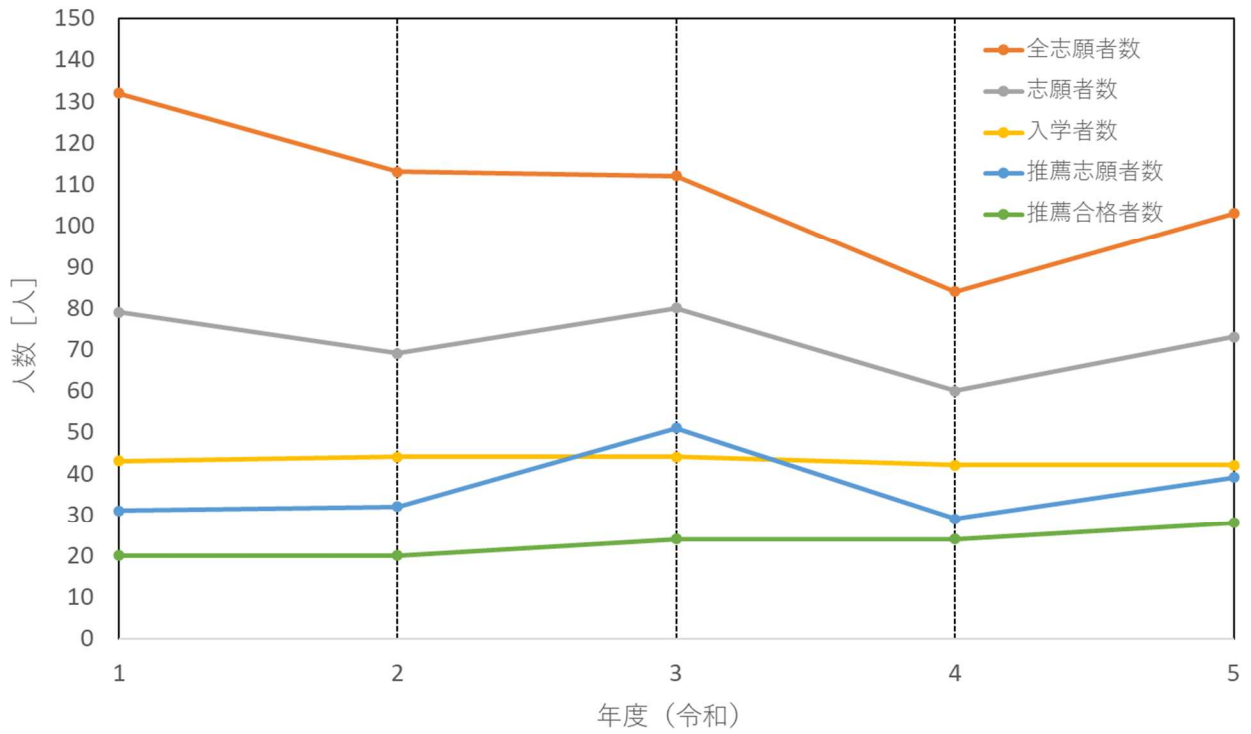
(出典：佐世保高専学生課教育支援係)



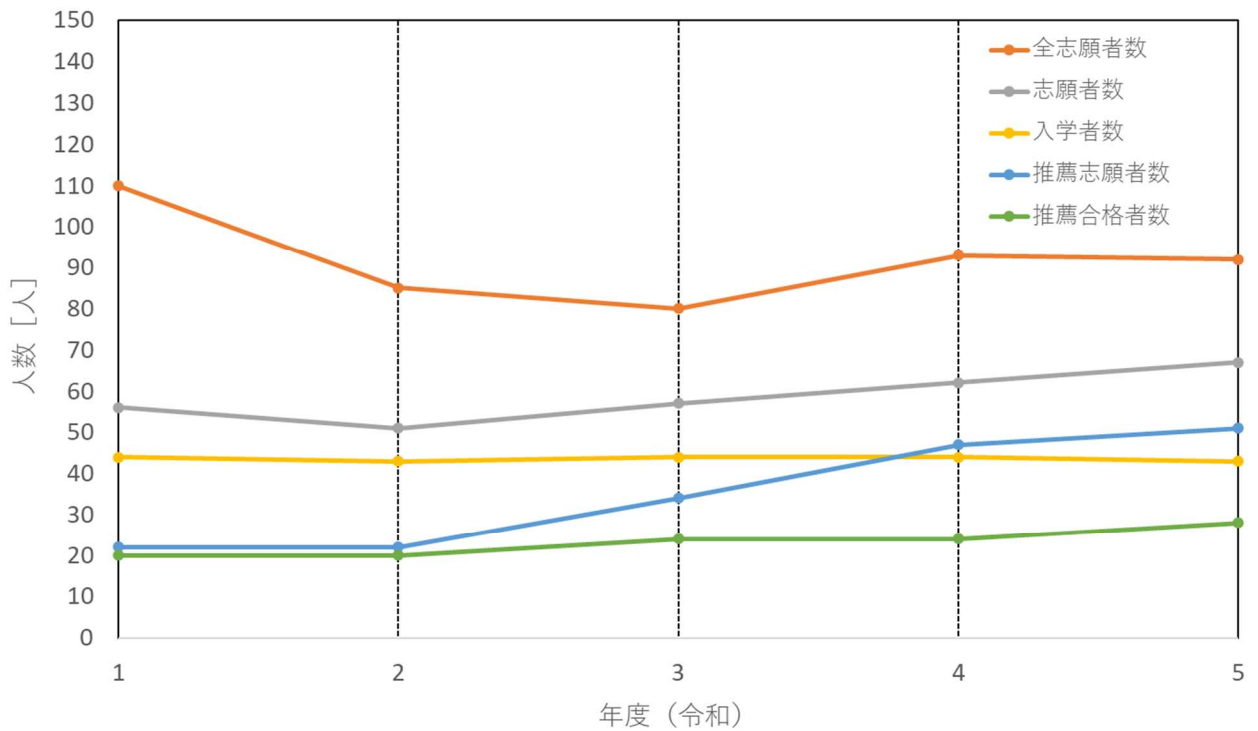
【資料1】 機械工学科の全志願者数・志願者数・推薦志願者数・推薦合格者数



【資料1】 電気電子工学科の全志願者数・志願者数・推薦志願者数・推薦合格者数



【資料1】 電子制御工学科の全志願者数・志願者数・推薦志願者数・推薦合格者数



【資料1】 物質工学科の全志願者数・志願者数・推薦志願者数・推薦合格者数

※本校の入試制度では、推薦入試は第1志望学科のみの志願とし、学力入試では第3志望学科まで志願できることから、全志願者数、志願者数については以下を示す。

全志願者数：第1志望、第2志望、第3志望のいずれかで当該学科を志願した者の数

志願者数：第1志望で当該学科を志願した者に加え、第2志望、第3志望で当該学科を志願し、当該学科に合格した者の数

【資料2】

佐世保工業高等専門学校 一日体験入学 お申込フォーム

アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の質問です

アンケート

アンケートへのご協力をお願いします。

コンピューターの仕組みやプログラミングなどの情報技術を身につけたいと思いますか？ *

はい

いいえ

情報技術に関する内容で、学びたいものを選択して下さい。(複数選択可) *

IoT

ロボット

AI

半導体

サイバーセキュリティ

無し

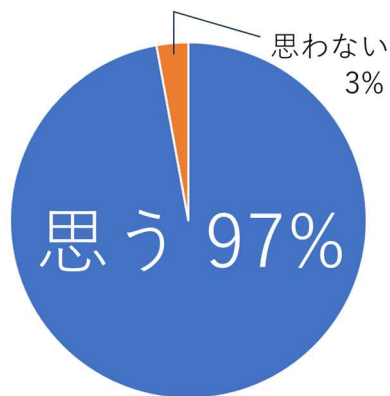
その他: _____

戻る 送信 フォームをクリア

一日体験入学申し込みフォームにおけるアンケートの設問
(Google Forms でのアンケート)
出典：佐世保高専学生課教育支援係

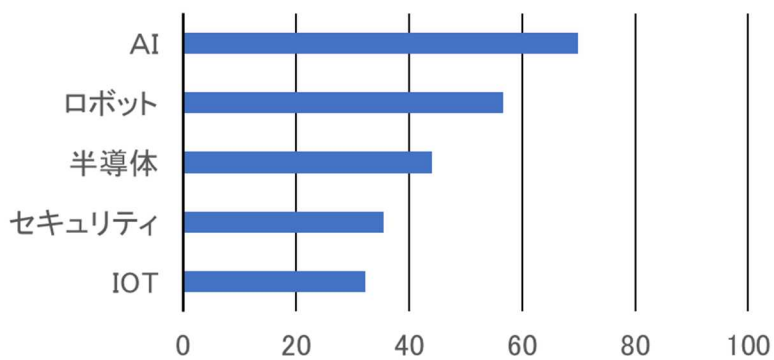
【資料2】

Q.コンピュータの仕組みやプログラミング等の情報技術を身につけたいと思いますか？



アンケート結果1

Q.情報技術に関する内容で学びたいものを選択してください？
(複数回答可)

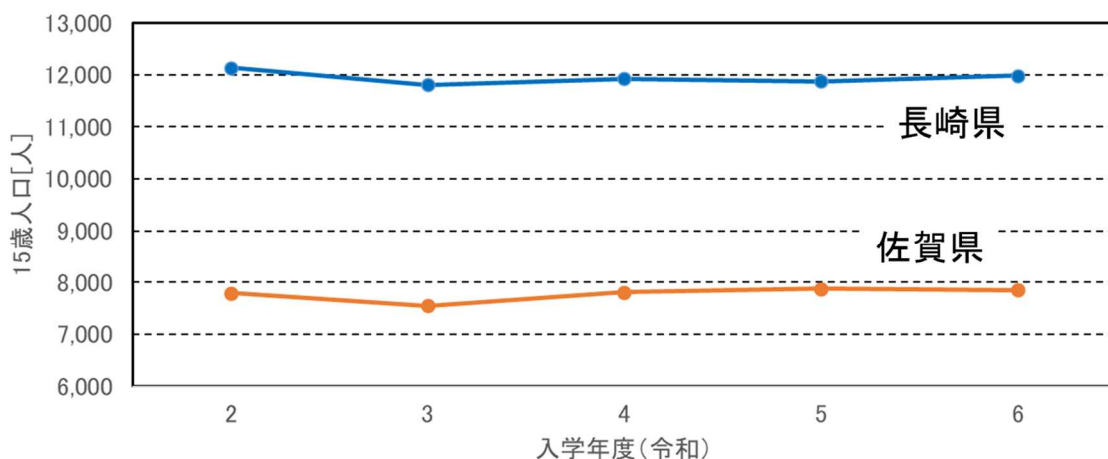


アンケート結果2

【資料2】 令和5年一日体験入学参加希望者（中学生）に対するアンケートの設問
およびアンケート結果（回答数：279名）

出典：佐世保高専学生課教育支援係

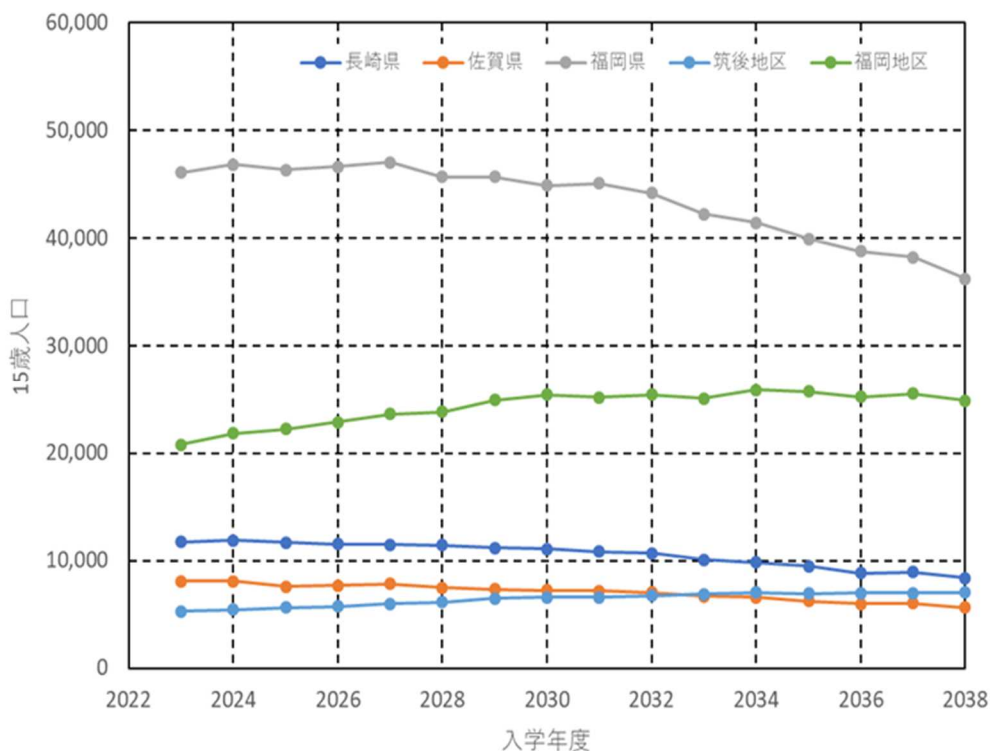
【資料3】



【資料3】 長崎県及び佐賀県の15歳人口の推移

出典：学校基本調査の統計データから抽出

- 令和4年度入学は(1) 令和3年度の中学3年生学年別生徒数
- 令和5年度入学以降は(2) 令和4年度の中学生学年別生徒数
- (3) 小学生学年別児童数



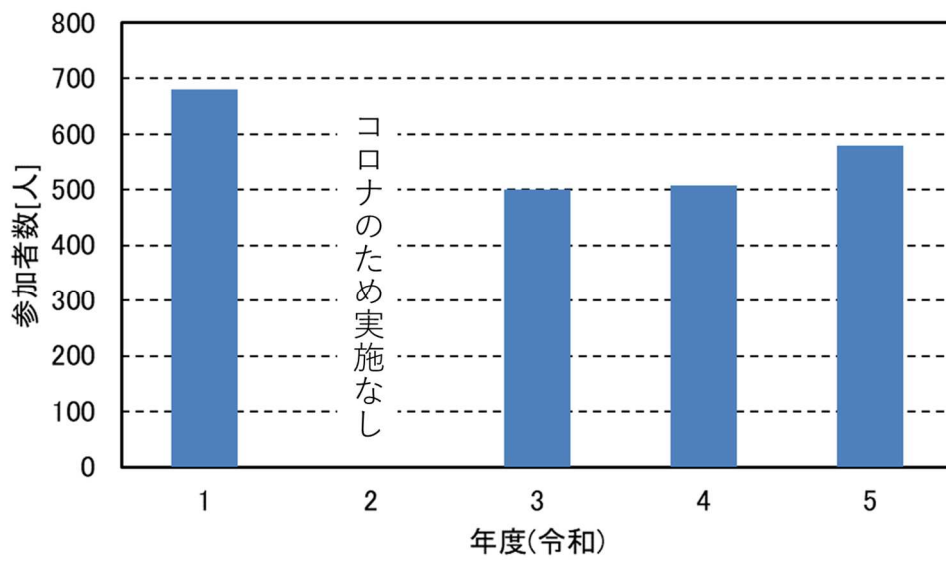
長崎県・佐賀県・福岡県の15歳人口の推移

出典：学校基本調査の統計データからの抽出

出典：福岡県オープンデータサイト 人口移動調査

出典：佐賀県の概要・統計 令和5年度推計人口

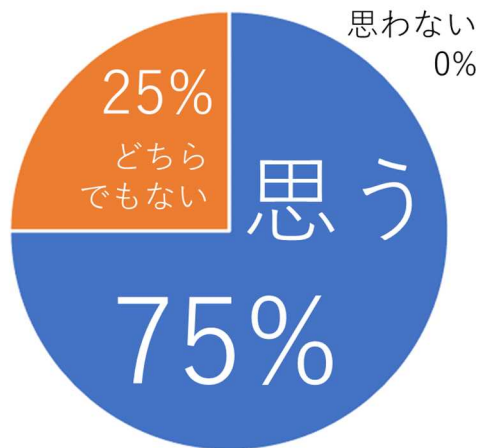
【資料4】



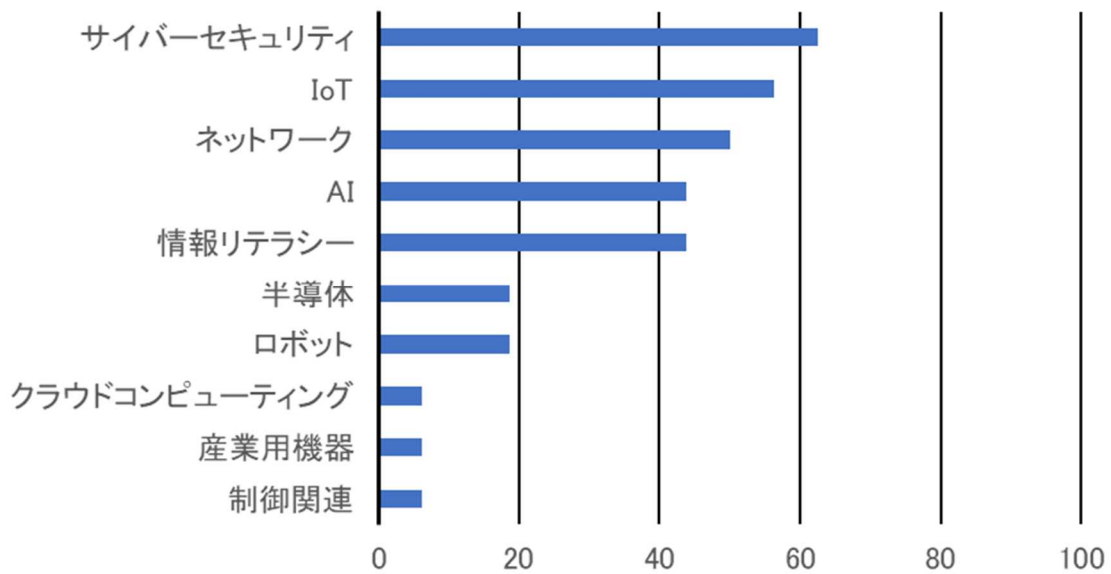
一日体験入学参加者数
出典：佐世保高専学生課教育支援係

【資料5】

Q.長崎県（西九州地域）において情報人材は不足していると思いますか？



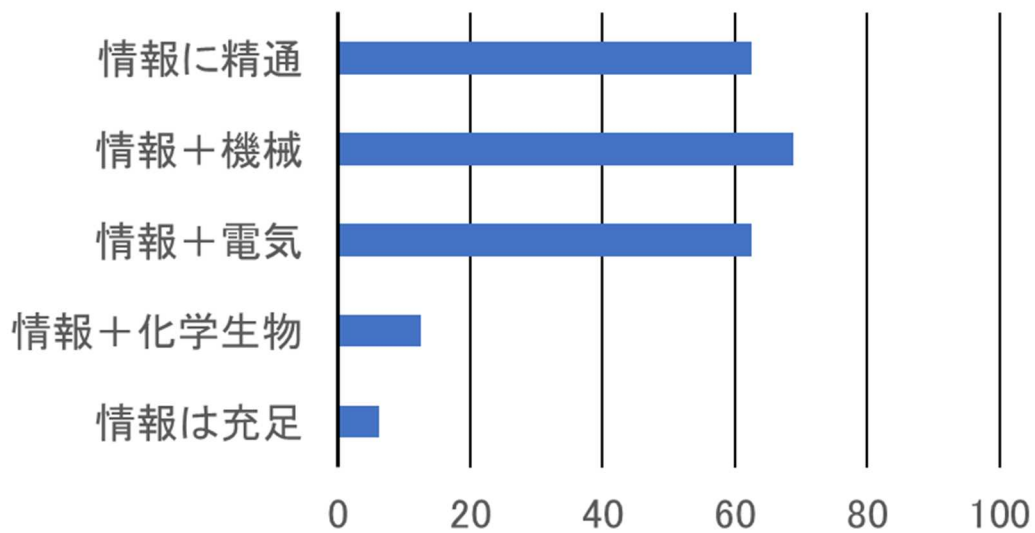
Q.貴社において必要なデジタル情報技術とは？



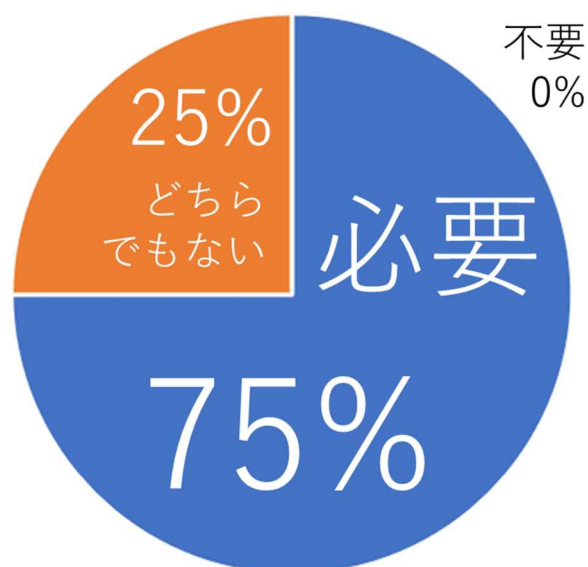
出典：NTC 会員企業に対するアンケート調査結果（令和5年度7月）

【資料5】

Q.貴社において必要な情報人材とは？



Q.実践的な情報人材の育成のために、学校と企業が連携して学生を教育する必要は？



出典：NTC 会員企業に対するアンケート調査結果（令和5年度7月）

【資料6】

【凡例】
 ●○：特に重要
 ●△：重要
 ●—：重要だが、限定的

参考)定義された7つの知識/スキルは製造業を中心に幅広く需要が存在
 4 各業界における環境変化と求められる人材像 ②求められる人材・スキル

知識/スキル	産業						
	製造業 (付加価値額の大きい産業を抽出)						その他
	航空	自動車	化学	食料品	生産用機械	電部部品/回路/デバイス...	金融 ...
IoT/アナリティクス	○	○	○ 製造工程等で活用機会有	○ マーケ/製造工程等で活用機会有	○ マーケ/製造工程等で活用機会有	○ 製造工程等で活用機会有	○ マーケ分野等で活用機会有
自動化・ロボティクス	○	△	△ 既に一定レベルで自動化済	○ 製造工程で一層の自動化余地有	○ 製造工程で一層の自動化余地有	△ 既に一定レベルで自動化済	○ 事務作業等で自動化余地有
サイバーセキュリティ	○	○	△ サイバ-攻撃のリスクはあるが限定的	△ サイバ-攻撃のリスクはあるが限定的	○ 販売製品のハッキングリスク有	— サイバ-攻撃のリスクは低い	○ 金融サービスのハッキングリスク有
Additive manufacturing	○	△	— 活用可能範囲は限定的	— 活用可能範囲は限定的	○ 生産用機械の部品製造に活用	△ パッカーン等、限定的だが活用可	— 活用可能範囲は限定的
大規模プロジェクトマネジメント	○	△	— 複雑だが既に一定のノウハウ有	— 開発/製造の規模/複雑さ小	△ 開発/製造の規模/複雑さ中	△ 開発/製造の規模/複雑さ中	○ システム開発は大規模・複雑
自動制御	△	○	— 定義に該当する製品がない	— 定義に該当する製品がない	○ 自動車同様、機会は大い	— 定義に該当する製品がない	— 定義に該当する製品がない
組込SW	△	○	— 定義に該当する製品がない	— 定義に該当する製品がない	○ 生産用機械に組込SWを利用	○ デバイスに組込SWを利用	— 定義に該当する製品がない

Source: 総務省統計局「平成24年経済センサス-活動調査 産業別集計 (製造業)「産業編」統計表データ」

【資料6】 経済産業省 HP より 平成29年11月27日 会議資料
 必要な人材像とキャリア構築支援に向けた検討ワーキング・グループ (第3回) - 配布資料
 資料5 6 ページ

https://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/sansei/jinzairyoku/jinzaizou_wg/003_haifu.htm

↓

【資料7】

JSBI 特定非営利活動法人 日本バイオインフォマティクス学会 Japanese Society for Bioinformatics

お問い合わせ サイトマップ English Google 提供

学会概要 学会活動 出版物 各種申請 寄付について 会員専用 入会案内

コンピュータをつかって生命情報を研究する学問分野
バイオインフォマティクス
BIってなに？

HOME / 学会概要 / バイオインフォマティクスについて

学ぶ
バイオインフォマティクスの書籍を読む

受験
認定試験で実力を試す

参加
イベントで最先端に触れる

探す
自分の興味にあう研究室をリサーチ

入会
JSBIに入会して仲間を作る

【資料7】 日本バイオインフォマティクス学会 HP

<https://www.jsbi.org/about/about-bi/>

【資料8】

HOME	まずはコチラ	佐世保北中受験	小・中コース案内	中学生のみな
------	--------	---------	----------	--------

サイトメニュー	
● ホーム	
● 生徒さんご父母へのお知らせ	
● 間違いだらけの塾選び	
● お子様の佐世保北中受験をお考えの方へ	
● 佐世保北中進学説明会	
● 長崎県立中学校入試そっくり模試	
● [小・中]個別指導とクラス授業のいいとこ取り	
● [小・中]選ばれる理由・みなさんの声	
● [小・中]成績保証制度	

2024年度入試用 長崎県公立高校・高	
数値は概算値です。 ※合格難易度のおよその目安として下さい。	
【偏差値 70～】	長崎西高校（普通科/理系コース）…72
【偏差値69～60】	長崎西高校（普通科/普通コース）…68
◆国立佐世保工業高等専門学校（電気電子工学科）…66	
◆国立佐世保工業高等専門学校（電子制御工学科）…66	
◆国立佐世保工業高等専門学校（機械工学科）…66	
◆国立佐世保工業高等専門学校（物質工学科）…66	
長崎北陽台高校（文理探求科）…66	
長崎東高校（普通科）…64	
長崎北陽台高校（文理探求科）…66	
長崎東高校（普通科）…64	
諫早高校（普通科）…63	
島原高校（理数科）…63	
佐世保北高校（普通科）…62	
長崎北陽台高校（普通科）…62	
大村高校（数理探求科）…62	
長崎北高校（普通科）…62	

【偏差値59～50】

佐世保南高校（文理探求科）…60
佐世保西高校（普通科）…58
長崎南高校（普通科）…58
大村高校（普通科）…55
佐世保南高校（普通科）…55
長崎工業高校（機械科）…55
長崎工業高校（機械システム科）…55
長崎工業高校（電気科）…55
長崎工業高校（工業化学科）…55
長崎工業高校（建築科）…55
長崎工業高校（インテリア科）…55
長崎工業高校（電子工学科）…55
長崎工業高校（情報技術科）…55

【偏差値50～45】

西陵高校（普通科）…55
長崎市立長崎商業高校（総合ビジネス科）…55
猶興館高校（理数科）…54
西陵高校（普通科）…55
長崎市立長崎商業高校（総合ビジネス科）…55
猶興館高校（理数科）…54
島原高校（普通科）…53
佐世保工業高校（機械科）…52
佐世保工業高校（電子機械科）…52
佐世保工業高校（電気科）…52
佐世保工業高校（電子工学科）…52
佐世保工業高校（建築科）…52
佐世保工業高校（土木科）…52
佐世保工業高校（材料技術科）…52
長崎市立長崎商業高校（情報科）…52
諫早商業高校（国際コミュニケーション科）…51
佐世保商業高校（国際コミュニケーション科）…50
長崎市立長崎商業高校（総合ビジネス/スポーツビジネスコ

【偏差値49～45】

佐世保商業高校（会計ビジネス科）…49
佐世保商業高校（情報マーケティング科）…49
大村工業高校（機械科）…49
大村工業高校（機械システム科）…49
大村工業高校（電気科）…49
大村工業高校（電子工学科）…49
大村工業高校（建築科）…49
大村工業高校（建設工業科）…49
大村工業高校（化学工学科）…49
猶興館高校（普通科）…49
大村工業高校（建設工業科）…49
大村工業高校（化学工学科）…49
猶興館高校（普通科）…49
諫早商業高校（商業科）…49
諫早商業高校（情報科）…49
五島高校（普通科）…48
島原商業高校（商業科）…48
島原商業高校（情報処理科）…48
口加高校（グローバルコース）…47
口加高校（普通科）…47
口加高校（福祉）…47
川棚高校（普通科）…47
大村高校（家政科）…47
長崎明誠高校（総合学科）…47
島原商業高校（家政科）…46
五島高校（普通科/スポーツコース）…46
島原工業高校（機械システム科）…45
島原工業高校（電気電子科）…45
島原工業高校（建築技術科）…45

【偏差値44～40】

清峰高校（総合学科）…44
五島海陽高校（総合学科）…44
対馬高校（国際文化交流）…44
諫早東高校（普通科）…44
五島高校（衛生看護科）…43
松浦高校（地域科学科）…43
松浦高校（商業科）…43
対馬高校（普通科）…43
波佐見高校（商業科）…43
佐世保東翔高校（総合学科）…42
壱岐高校（普通科）…42
鹿町工業高校（機械科）…42
鹿町工業高校（電気科）…42
鹿町工業高校（電子工学科）…42
鹿町工業高校（土木技術科）…42
川棚高校（生活総合科）…42
大村城南高校（総合学科）…42
諫早農業高校（農業科学科）…42
諫早農業高校（動物科学科）…42
諫早農業高校（環境創造科）…42
諫早農業高校（農業土木科）…42
諫早農業高校（パイオ園芸科）…42
諫早農業高校（食品科学科）…42
諫早農業高校（生活科学科）…42
国見高校（普通科）…41
小浜高校（総合ビジネス科）…40
長崎鶴洋高校（水産科）…41

【偏差値44～40】

清峰高校（総合学科）…44
五島海陽高校（総合学科）…44
対馬高校（国際文化交流）…44
諫早東高校（普通科）…44
五島高校（衛生看護科）…43
松浦高校（地域科学科）…43

（出典：代々木教育ゼミナール HP） https://yoyogi.com/koukou_hensachi.html

【資料 8】 (出典：長崎県 <https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kanko-kyoiku-bunka/shochuko/koko-nyushi/>)

令和5年度 公立高等学校入学者選抜 後期選抜志願状況 (全日制 1)

学校名	学科名	全募集 定員	前期等 合格者数	後期 定員	後期志願者数		本年度後期 志願倍率	前年度後期 志願倍率
					うち学区外			
長崎東	普通・国際	280	145	135	153	◇	1.1	0.9
	計	280	145	135	153	(7)	1.1	0.9
長崎西	普通	200	30	170	130	◇	0.8	0.7
	普通(理系)	80	8	72	163	◇	2.3	2.3
	計	280	38	242	293	(17)	1.2	1.2
長崎南	普通	240	60	180	154	◇	0.9	1.1
	計	240	60	180	154	(0)	0.9	1.1
長崎北	普通	240	60	180	242	◇	1.3	1.3
	計	240	60	180	242	(3)	1.3	1.3
長崎北陽台	普通	200	50	150	138	◇	0.9	1.1
	文理探究	80	20	60	105	-	1.8	-
	計	280	70	210	243	(0)	1.2	1.1
佐世保南	普通	160	40	120	106	◇	0.9	1.0
	文理探究	80	20	60	80	-	1.3	-
	計	240	60	180	186	(0)	1.0	1.0
佐世保北	普通	240	143	97	84	◇	0.9	1.1
	計	240	143	97	84	(1)	0.9	1.1
佐世保西	普通	240	60	180	206	◇	1.1	1.2
	計	240	60	180	206	(1)	1.1	1.2
宇久	普通	40	0	40	2	◇	0.1	0.1
	計	40	0	40	2	(0)	0.1	0.1
島原	普通	160	40	120	74	◇	0.6	0.9
	文理探究	80	20	60	61	-	1.0	-
	計	240	60	180	135	(0)	0.8	0.8
諫早	普通	280	149	131	143	◇	1.1	1.3
	計	280	149	131	143	(7)	1.1	1.3
西陵	普通	240	60	180	206	◇	1.1	1.0
	計	240	60	180	206	(3)	1.1	1.0

諫早東	普通	80	39	41	19	◇	0.5	0.3
	計	80	39	41	19	(1)	0.5	0.3
大村	普通	200	49	151	106	◇	0.7	0.9
	文理探究	80	20	60	99	-	1.7	-
	家政	40	20	20	11	-	0.6	0.8
	計	320	89	231	216	(2)	0.9	0.8
猶興館	普通	120	30	90	27	◇	0.3	0.6
	文理探究	40	10	30	11	-	0.4	-
	計	160	40	120	38	(0)	0.3	0.5
松浦	地域科学	80	33	47	4	◇	0.1	0.0
	商業	40	20	20	5	-	0.3	0.2
	計	120	53	67	9	(0)	0.1	0.1
対馬	普通	120	30	90	54	◇	0.6	0.6
	商業	40	20	20	8	-	0.4	0.6
	国際文化交流	40	21	19	0	-	0.0	0.2
	計	200	71	129	62	(1)	0.5	0.6
豊玉	普通	40	18	22	0	◇	0.0	0.1
	計	40	18	22	0	(0)	0.0	0.1
上対馬	普通	80	8	72	17	◇	0.2	0.3
	計	80	8	72	17	(0)	0.2	0.3
壱岐	普通	160	18	142	127	◇	0.9	0.9
	計	160	18	142	127	(0)	0.9	0.9
五島	普通	160	21	139	78	◇	0.6	0.7
	衛生看護	40	4	36	24	-	0.7	0.4
	計	200	25	175	102	(1)	0.6	0.6

【資料 8】

学校名	学科名	全募集 定員	前期等 合格者数	後期 定員	後期志願者数		本年度後期 志願倍率	前年度後期 志願倍率
						うち学区外		
長崎工業	機械	40	20	20	16	-	0.8	0.4
	機械システム	40	20	20	16	-	0.8	0.8
	電気	40	20	20	22	-	1.1	0.8
	電子工学	40	20	20	21	-	1.1	0.7
	情報技術	40	20	20	37	-	1.9	1.7
	建築	40	20	20	30	-	1.5	1.1
	工業化学	40	20	20	20	-	1.0	0.4
	インテリア	40	20	20	27	-	1.4	0.8
計		320	160	160	189		1.2	0.8
佐世保工業	機械	40	20	20	14	-	0.7	0.6
	電子機械	40	20	20	23	-	1.2	1.3
	電気	40	20	20	23	-	1.2	0.2
	電子工学	40	20	20	17	-	0.9	1.0
	建築	40	20	20	46	-	2.3	0.8
	土木	40	20	20	29	-	1.5	1.3
計		240	120	120	152		1.3	0.9
鹿町工業	機械	40	20	20	11	-	0.6	0.7
	電気	40	17	23	4	-	0.2	0.6
	電子工学	40	20	20	12	-	0.6	1.2
	土木技術	40	20	20	11	-	0.6	0.5
計		160	77	83	38		0.5	0.7
島原工業	機械システム	40	20	20	10	-	0.5	0.4
	電気電子	40	21	20	17	-	0.9	0.6
	建築技術	40	20	20	12	-	0.6	0.1
計		120	61	60	39		0.7	0.4
大村工業	機械	80	40	40	35	-	0.9	0.7
	機械システム	40	20	20	22	-	1.1	0.6
	電気	40	20	20	13	-	0.7	0.5
	電子工学	40	20	20	29	-	1.5	0.8
	建築	40	20	20	27	-	1.4	1.0
	建設工業	40	20	20	25	-	1.3	1.0
	化学工学	40	20	20	13	-	0.7	0.6
計		320	160	160	164		1.0	0.7

【資料8】

令和4年度 公立高等学校入学者選抜 後期選抜志願状況 (全日制1)

学校名	学科名	全募集 定員	前期等 合格者数	後期 定員	後期志願者数	本年度後期		
						うち学区外	志願倍率	
長崎東	普通・国際	280	135	145	135	◇	0.9	1.1
	計	280	135	145	135	(2)	0.9	1.1
長崎西	普通	200	30	170	123	◇	0.7	0.8
	普通(理系)	80	8	72	162	◇	2.3	1.8
計	280	38	242	285	(14)	1.2	1.1	
長崎南	普通	240	60	180	190	◇	1.1	1.1
	計	240	60	180	190	(0)	1.1	1.1
長崎北	普通	240	60	180	225	◇	1.3	1.6
	計	240	60	180	225	(0)	1.3	1.6
長崎北陽台	普通	240	60	180	196	◇	1.1	1.1
	理数	40	10	30	40	-	1.3	0.9
計	280	70	210	236	(3)	1.1	1.1	
佐世保南	普通	240	61	180	178	◇	1.0	1.0
	計	240	61	180	178	(2)	1.0	1.0
佐世保北	普通	240	145	95	107	◇	1.1	1.1
	計	240	145	95	107	(0)	1.1	1.1
佐世保西	普通	240	60	180	211	◇	1.2	1.1
	計	240	60	180	211	(0)	1.2	1.1
宇久	普通	40	0	40	3	◇	0.1	0.2
	計	40	0	40	3	(0)	0.1	0.2
島原	普通	200	50	150	129	◇	0.9	0.7
	理数	40	10	30	14	-	0.5	0.6
計	240	60	180	143	(1)	0.8	0.7	
諫早	普通	280	151	129	174	◇	1.3	1.1
	計	280	151	129	174	(5)	1.3	1.1
西陵	普通	240	60	180	181	◇	1.0	1.1
	計	240	60	180	181	(3)	1.0	1.1

諫早東	普通	80	29	51	13	◇	0.3	0.5
	計	80	29	51	13	(0)	0.3	0.5
大村	普通	240	60	180	159	◇	0.9	0.9
	数理探究	40	19	21	9	-	0.4	0.6
	家政	40	20	20	15	-	0.8	0.2
計	320	99	221	183	(5)	0.8	0.8	
猶興館	普通	120	30	90	58	◇	0.6	0.4
	理数	40	18	22	2	-	0.1	0.0
	計	160	48	112	60	(0)	0.5	0.3
松浦	地域科学	80	30	50	1	◇	0.0	0.4
	商業	40	20	20	4	-	0.2	0.4
	計	120	50	70	5	(0)	0.1	0.4
対馬	普通	120	30	90	58	◇	0.6	0.5
	商業	40	20	20	11	-	0.6	0.2
	国際文化交流	40	27	13	3	-	0.2	0.0
計	200	77	123	72	(1)	0.6	0.3	
豊玉	普通	40	20	20	1	◇	0.1	0.0
	計	40	20	20	1	(0)	0.1	0.0
上対馬	普通	80	9	71	21	◇	0.3	0.3
	計	80	9	71	21	(0)	0.3	0.3
杵岐	普通	160	15	145	127	◇	0.9	0.7
	計	160	15	145	127	(0)	0.9	0.7
五島	普通	160	22	138	99	◇	0.7	0.6
	衛生看護	40	4	36	14	-	0.4	0.6
計	200	26	174	113	(0)	0.6	0.6	

【資料 8】

学校名	学科名	全募集 定員	前期等 合格者数	後期 定員	後期志願者数		本年度後期	前年度後期
					うち学区外	志願倍率	志願倍率	
長崎工業	機械	40	20	20	8	—	0.4	0.9
	機械システム	40	20	20	16	—	0.8	0.4
	電気	40	20	20	15	—	0.8	1.3
	電子工学	40	20	20	14	—	0.7	0.7
	情報技術	40	20	20	33	—	1.7	1.6
	建築	40	20	20	22	—	1.1	1.8
	工業化学	40	20	20	8	—	0.4	0.7
	インテリア	40	20	20	15	—	0.8	1.5
計	320	160	160	131		0.8	1.1	
佐世保工業	機械	40	20	20	12	—	0.6	0.8
	電子機械	40	20	20	26	—	1.3	1.3
	電気	40	20	20	4	—	0.2	1.3
	電子工学	40	20	20	19	—	1.0	0.9
	建築	40	20	20	15	—	0.8	1.7
	土木	40	20	20	26	—	1.3	1.0
計	240	120	120	102		0.9	1.2	
鹿町工業	機械	40	20	20	13	—	0.7	0.8
	電気	40	20	20	12	—	0.6	0.1
	電子工学	40	20	20	23	—	1.2	0.5
	土木技術	40	20	20	9	—	0.5	0.1
計	160	80	80	57		0.7	0.4	
島原工業	機械システム	40	20	20	8	—	0.4	1.2
	電気電子	40	20	20	11	—	0.6	0.9
	建築技術	40	18	22	3	—	0.1	0.9
計	120	58	62	22		0.4	1.0	
大村工業	機械	80	40	40	26	—	0.7	1.3
	機械システム	40	20	20	11	—	0.6	1.1
	電気	40	20	20	10	—	0.5	1.3
	電子工学	40	20	20	15	—	0.8	1.1
	建築	40	20	20	19	—	1.0	1.7
	建設工業	40	20	20	19	—	1.0	0.7
	化学工学	40	20	20	12	—	0.6	0.6
計	320	160	160	112		0.7	1.1	

【資料8】

令和3年度 公立高等学校入学者選抜 後期選抜志願状況 (全日制 1)

学校名	学科名	全募集 定員	前期等 合格者数	後期 定員	後期志願者数		本年度後期 志願倍率
						うち学区外	
長崎東	普通・国際	280	139	141	151	◇	1.1
	計	280	139	141	151	(7)	1.1
長崎西	普通	200	30	170	133	◇	0.8
	普通(理系)	80	8	72	126	◇	1.8
	計	280	38	242	259	(14)	1.1
長崎南	普通	240	60	180	199	◇	1.1
	計	240	60	180	199	(0)	1.1
長崎北	普通	240	60	180	282	◇	1.6
	計	240	60	180	282	(4)	1.6
長崎北陽台	普通	240	60	180	200	◇	1.1
	理数	40	10	30	27	-	0.9
	計	280	70	210	227	(4)	1.1
佐世保南	普通	240	60	180	175	◇	1.0
	計	240	60	180	175	(2)	1.0
佐世保北	普通	240	144	96	105	◇	1.1
	計	240	144	96	105	(1)	1.1
佐世保西	普通	240	60	180	192	◇	1.1
	計	240	60	180	192	(0)	1.1
宇久	普通	40	0	40	7	◇	0.2
	計	40	0	40	7	(0)	0.2
島原	普通	200	50	150	99	◇	0.7
	理数	40	10	30	19	-	0.6
	計	240	60	180	118	(1)	0.7
諫早	普通	280	157	123	139	◇	1.1
	計	280	157	123	139	(7)	1.1
西陵	普通	240	60	180	191	◇	1.1
	計	240	60	180	191	(1)	1.1
諫早東	普通	80	30	50	23	◇	0.5
	計	80	30	50	23	(1)	0.5

学校名	学科名	後期志願者数				本年度後期 志願倍率	
		計	うち学区外	うち学区外	うち学区外		
諫早東	普通	80	30	50	23	◇	0.5
	計	80	30	50	23	(1)	0.5
大村	普通	240	60	180	161	◇	0.9
	数理探究	40	10	30	19	-	0.6
	家政	40	20	20	3	-	0.2
	計	320	90	230	183	(2)	0.8
猶興館	普通	120	60	60	22	◇	0.4
	理数	40	10	30	1	-	0.0
	計	160	70	90	23	(0)	0.3
松浦	普通	80	40	40	17	◇	0.4
	商業	40	20	20	8	-	0.4
	計	120	60	60	25	(0)	0.4
対馬	普通	120	60	60	28	◇	0.5
	商業	40	15	25	4	-	0.2
	国際文化交流	40	26	14	0	-	0.0
	計	200	101	99	32	(0)	0.3
豊玉	普通	40	10	30	1	◇	0.0
	計	40	10	30	1	(0)	0.0
上対馬	普通	80	8	72	21	◇	0.3
	計	80	8	72	21	(0)	0.3
杵岐	普通	160	16	144	104	◇	0.7
	計	160	16	144	104	(0)	0.7
五島	普通	160	28	132	78	◇	0.6
	衛生看護	40	4	36	20	-	0.6
	計	200	32	168	98	(0)	0.6

【資料8】

学校名	学科名	全募集 定員	前期等 合格者数	後期 定員	後期志願者数	本年度後期	
						うち学区外	志願倍率
長崎工業	機械	40	20	20	17	-	0.9
	機械システム	40	20	20	8	-	0.4
	電気	40	20	20	26	-	1.3
	電子工学	40	20	20	13	-	0.7
	情報技術	40	20	20	31	-	1.6
	建築	40	20	20	36	-	1.8
	工業化学	40	20	20	13	-	0.7
	インテリア	40	20	20	30	-	1.5
	計	320	160	160	174		1.1
佐世保工業	機械	40	16	24	20	-	0.8
	電子機械	40	16	24	32	-	1.3
	電気	40	16	24	32	-	1.3
	電子工学	40	16	24	22	-	0.9
	建築	40	16	24	40	-	1.7
	土木	40	16	24	23	-	1.0
	計	240	96	144	169		1.2
鹿町工業	機械	40	20	20	15	-	0.8
	電気	40	16	24	3	-	0.1
	電子工学	40	20	20	10	-	0.5
	土木技術	40	20	20	2	-	0.1
	計	160	76	84	30		0.4
島原工業	機械システム	40	20	20	23	-	1.2
	電気電子	40	20	20	17	-	0.9
	建築技術	40	20	20	18	-	0.9
	計	120	60	60	58		1.0
大村工業	機械	80	40	40	50	-	1.3
	機械システム	40	20	20	22	-	1.1
	電気	40	20	20	26	-	1.3
	電子工学	40	20	20	21	-	1.1
	建築	40	20	20	33	-	1.7
	建設工業	40	20	20	14	-	0.7
	化学工学	40	20	20	11	-	0.6
	計	320	160	160	177		1.1

【資料 8】

令和2年度 公立高等学校入学者選抜 実施状況
(全日制 1)

*受 検 者 数：推薦入学・離島留学特別選抜区域内の内定者
+学力検査(3月実施)の受検者。
*一般合格者数：離島留学制度に係る実施校の通学区域内合格者を含む。
*離島留学合格者数：離島留学特別選抜合格者のうち通学区域内の合格者数。

学校名	学科名	募集 定員	受検者数	一般 合格者数	一般推薦 合格者数	特別推薦 合格者数	離島留学 合格者数	全合格者数		
								男	女	計
長崎東	普通・国際	280	319	135	140	5	—	135	145	280
長崎西	普通	200	151	183	12	5	—	95	105	200
	普通(理系)	80	173	76	4	0	—	44	36	80
	計	280	324	259	16	5	0	139	141	280
長崎南	普通	240	258	209	28	3	—	123	117	240
長崎北	普通	240	322	187	48	5	—	115	125	240
長崎北陽台	普通	240	277	199	36	5	—	122	118	240
	理数	40	52	32	8	0	—	26	14	40
	計	280	329	231	44	5	0	148	132	280
佐世保南	普通	240	223	175	43	5	—	105	118	223
佐世保北	普通	240	235	92	137	5	—	112	122	234
佐世保西	普通	240	253	188	47	5	—	113	127	240
宇久	普通	40	8	8	—	—	—	1	7	8
島原	普通	200	152	140	9	4	—	83	70	153
	理数	40	41	34	5	1	—	28	12	40
	計	240	193	174	14	5	0	111	82	193
諫早	普通	280	292	132	143	5	—	151	129	280
西陵	普通	240	244	194	43	3	—	117	123	240
諫早東	普通	80	70	63	0	4	—	41	26	67
大村	普通	240	254	188	48	4	—	121	119	240
	数理探究	40	33	28	8	0	—	24	12	36
	家政	40	39	23	16	1	—	0	40	40
	計	320	326	239	72	5	0	145	171	316
猶興館	普通	120	68	53	13	2	—	22	46	68
	理数	40	16	12	4	0	—	11	5	16
	計	160	84	65	17	2	0	33	51	84

松浦	普通	80	63	53	5	5	—	27	36	63
	商業	40	36	34	1	0	—	11	24	35
	計	120	99	87	6	5	0	38	60	98
対馬	普通	120	85	79	3	3	—	37	48	85
	商業	40	34	31	1	0	—	13	19	32
	国際文化交流	40	31	0	—	—	31	3	28	31
	計	200	150	110	4	3	31	53	95	148
豊玉	普通	40	26	25	0	—	—	15	10	25
上対馬	普通	80	35	35	0	0	—	13	22	35
杵岐	普通	160	124	112	4	3	5	67	57	124
五島	普通	160	134	110	3	3	17	70	63	133
	衛生看護	40	25	20	4	0	—	6	18	24
	計	200	159	130	7	3	17	76	81	157
五島南	普通	80	25	21	0	—	4	16	9	25
奈留	普通	40	8	4	—	—	4	3	5	8
大崎	普通	80	37	29	2	5	—	26	10	36
西彼杵	普通	80	25	20	1	3	—	15	9	24
国見	普通	120	64	59	0	5	—	54	10	64
小浜	普通	40	36	30	1	5	—	20	16	36
	総合ビジネス	40	11	11	0	0	—	6	5	11
	計	80	47	41	1	5	0	26	21	47
口加	普通	54	54	47	4	3	—	23	31	54
	普通(グローバル)	40	31	25	4	2	—	11	20	31
	福祉	26	9	9	0	0	—	3	6	9
	計	120	94	81	8	5	0	37	57	94

【資料8】

諫早農業	農業科学	40	33	34	6	0	-	35	5	40
	動物科学	40	45	30	10	0	-	14	26	40
	環境創造	40	43	33	5	2	-	37	3	40
	農業土木	40	60	24	14	2	-	36	4	40
	バイオ園芸	40	31	36	3	1	-	33	7	40
	食品科学	40	41	30	10	0	-	6	34	40
	生活科学	40	41	29	11	0	-	0	40	40
	計	280	294	216	59	5	0	161	119	280
北松農業	生物生産	40	24	23	0	0	-	14	9	23
	食品流通	40	12	11	0	0	-	5	6	11
	生活科学	40	20	19	1	0	-	3	17	20
	計	120	56	53	1	0	0	22	32	54
西彼農業	食料サイエンス	40	42	40	0	-	-	26	14	40
	生活デザイン	40	21	21	0	-	-	5	16	21
	計	80	63	61	0	0	0	31	30	61
長崎工業	機械	40	45	28	12	0	-	38	2	40
	機械システム	40	47	27	10	3	-	39	1	40
	電気	40	45	29	10	1	-	40	0	40
	電子工学	40	45	35	5	0	-	39	1	40
	情報技術	40	76	28	12	0	-	32	8	40
	建築	40	67	28	12	0	-	32	8	40
	工業化学	40	41	31	9	0	-	31	9	40
	インテリア	40	52	27	12	1	-	8	32	40
	計	320	418	233	82	5	0	259	61	320
佐世保工業	機械	40	38	33	6	1	-	40	0	40
	電子機械	40	51	28	12	0	-	37	3	40
	電気	40	42	28	11	1	-	37	3	40
	電子工学	40	39	37	3	0	-	40	0	40
	建築	40	52	24	16	0	-	30	10	40
	土木	40	48	31	6	3	-	37	3	40
		計	240	270	181	54	5	0	221	19

学校名	学科名	募集 定員	受検者数	一般 合格者数	一般推薦 合格者数	特別推薦 合格者数	離島留学 合格者数	全合格者数		
								男	女	計
鹿町工業	機械	40	38	33	4	3	-	38	2	40
	電気	40	51	34	4	2	-	40	0	40
	電子工学	40	27	28	3	0	-	28	3	31
	土木技術	40	26	26	3	0	-	29	0	29
	計	160	142	121	14	5	0	135	5	140
島原工業	機械システム	40	37	23	12	2	-	35	2	37
	電気電子	40	34	29	4	1	-	33	1	34
	建築技術	40	41	32	6	2	-	30	10	40
	計	120	112	84	22	5	0	98	13	111
大村工業	機械	80	73	59	20	1	-	78	2	80
	機械システム	40	46	26	14	0	-	40	0	40
	電気	40	33	31	9	0	-	37	3	40
	電子工学	40	48	28	12	0	-	35	5	40
	建築	40	48	24	16	0	-	30	10	40
	建設工業	40	38	27	9	4	-	39	1	40
	化学工学	40	38	36	4	0	-	31	9	40
	計	320	324	231	84	5	0	290	30	320
佐世保商業	会計ビジネス	80	71	52	23	1	-	11	65	76
	情報マーケティング	80	88	55	21	4	-	14	66	80
	国際コミュニケーション	40	43	24	16	0	-	5	35	40
	計	200	202	131	60	5	0	30	166	196
島原商業	商業	40	24	16	9	1	-	8	18	26
	情報処理	40	39	28	9	2	-	18	21	39
	家政	40	42	22	16	2	-	0	40	40
	計	120	105	66	34	5	0	26	79	105
諫早商業	商業	160	143	108	41	3	-	56	96	152
	情報	40	55	26	12	2	-	22	18	40
	国際コミュニケーション	40	33	17	16	0	-	3	30	33

【資料 8】

平成 31 年度 公立高等学校入学者選抜 実施状況
(全日制 1)

学校名	学科名	募集 定員	受検者数	合格者数				全合格者数		
				一般 合格者数	一般推薦 合格者数	特別推薦 合格者数	離島留学 合格者数	男	女	計
長崎東	普通・国際	280	308	135	140	5	—	139	141	280
長崎西	普通	200	146	183	12	5	—	91	109	200
	普通(理系)	80	186	76	4	0	—	53	27	80
	計	280	332	259	16	5	0	144	136	280
長崎南	普通	240	267	200	36	4	—	120	120	240
長崎北	普通	240	308	187	48	5	—	116	124	240
長崎北陽台	普通	240	275	199	36	5	—	121	119	240
	理数	40	41	34	6	0	—	31	9	40
	計	280	316	233	42	5	0	152	128	280
佐世保南	普通	240	238	185	48	5	—	117	121	238
佐世保北	普通	240	251	94	141	5	—	132	108	240
佐世保西	普通	240	265	187	48	5	—	111	129	240
宇久	普通	40	4	4	—	—	—	1	3	4
島原	普通	200	184	160	19	5	—	91	93	184
	理数	40	39	31	8	0	—	22	17	39
	計	240	223	191	27	5	0	113	110	223
諫早	普通	280	307	129	147	5	—	132	149	281
西陵	普通	240	263	193	42	5	—	109	131	240
諫早東	普通	80	78	67	4	5	—	33	43	76
大村	普通	240	222	172	47	3	—	115	107	222
	数理探究	40	31	23	8	0	—	14	17	31
	家政	40	38	20	16	2	—	0	38	38
	計	320	291	215	71	5	0	129	162	291
猶興館	普通	120	77	62	11	4	—	30	47	77
	理数	40	13	10	3	0	—	6	7	13
	計	160	90	72	14	4	0	36	54	90
松浦	普通	80	46	38	3	5	—	19	27	46
	商業	40	18	17	1	0	—	4	14	18
	計	120	64	55	4	5	0	23	41	64

松浦	普通	80	46	38	3	5	—	19	27	46
	商業	40	18	17	1	0	—	4	14	18
	計	120	64	55	4	5	0	23	41	64
対馬	普通	120	94	89	3	2	—	40	54	94
	商業	40	22	19	1	0	—	12	8	20
	国際文化交流	40	40	0	—	—	40	5	35	40
	計	200	156	108	4	2	40	57	97	154
豊玉	普通	40	22	22	0	—	—	15	7	22
上対馬	普通	80	29	29	0	0	—	15	14	29
壱岐	普通	160	137	126	0	5	6	67	70	137
五島	普通	160	121	91	5	4	21	69	52	121
	衛生看護	40	22	18	4	0	—	0	22	22
	計	200	143	109	9	4	21	69	74	143
五島南	普通	80	17	15	0	0	2	14	3	17
奈留	普通	40	10	4	—	—	6	5	5	10
大崎	普通	80	35	30	0	5	—	25	10	35
西彼杵	普通	80	46	44	0	0	—	30	14	44
国見	普通	120	64	55	3	5	—	48	15	63
小浜	普通	40	29	23	1	5	—	19	10	29
	総合ビジネス	40	14	13	0	0	—	6	7	13
	計	80	43	36	1	5	0	25	17	42
口加	普通	54	53	46	4	3	—	23	30	53
	普通(ケローカル)	40	37	30	6	1	—	15	22	37
	福祉	26	17	12	4	1	—	1	16	17
	計	120	107	88	14	5	0	39	68	107

【資料8】

学校名	学科名	募集 定員	受検者数	合格者数				全合格者数		
				一般 合格者数	一般推薦 合格者数	特別推薦 合格者数	離島留学 合格者数	男	女	計
鹿町工業	機械	40	37	27	7	2	—	36	0	36
	電気	40	38	35	1	1	—	37	0	37
	電子工学	40	36	31	3	1	—	33	2	35
	土木技術	40	32	27	4	1	—	32	0	32
	計	160	143	120	15	5	0	138	2	140
島原工業	機械システム	40	32	23	7	2	—	31	1	32
	電気電子	40	29	20	9	0	—	28	1	29
	建築技術	40	33	25	5	3	—	28	5	33
	計	120	94	68	21	5	0	87	7	94
大村工業	機械	80	84	65	14	1	—	76	4	80
	機械システム	40	59	23	16	1	—	38	2	40
	電気	40	47	35	5	0	—	38	2	40
	電子工学	40	37	35	5	0	—	40	0	40
	建築	40	41	28	12	0	—	33	7	40
	建設工業	40	44	25	12	3	—	40	0	40
	化学工学	40	24	33	7	0	—	38	2	40
		計	320	336	244	71	5	0	303	17
佐世保商業	会計ビジネス	80	73	51	29	0	—	7	73	80
	情報マーケティング	80	94	44	32	4	—	19	61	80
	国際コミュニケーション	40	39	22	16	1	—	5	34	39
		計	200	206	117	77	5	0	31	168
島原商業	商業	40	37	26	8	3	—	13	24	37
	情報処理	40	34	27	6	1	—	21	13	34

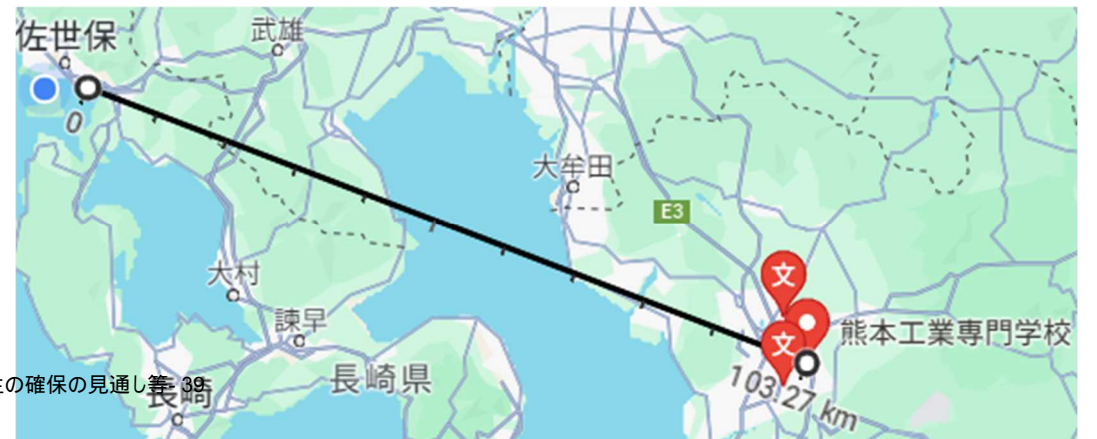
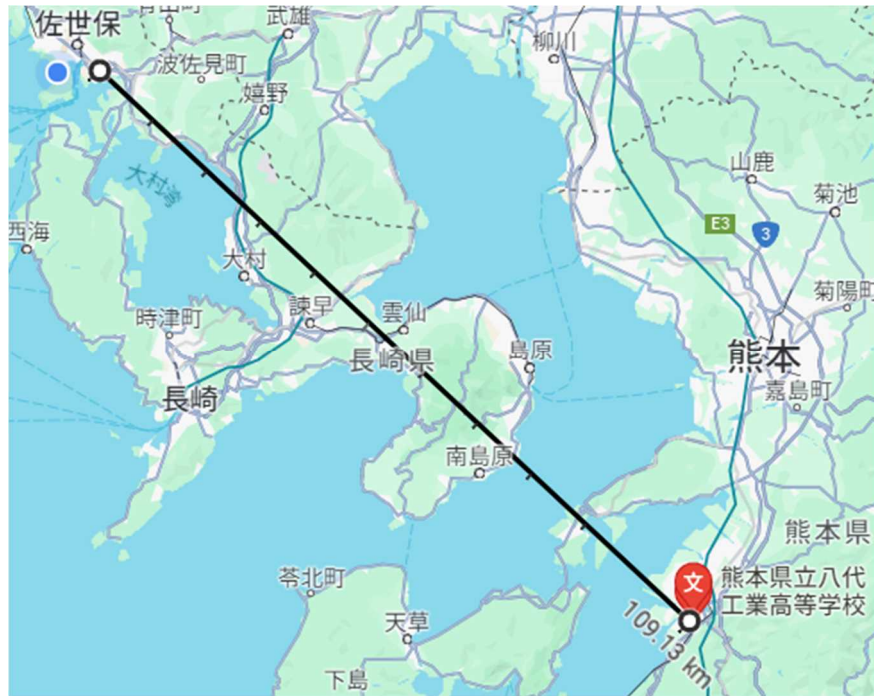
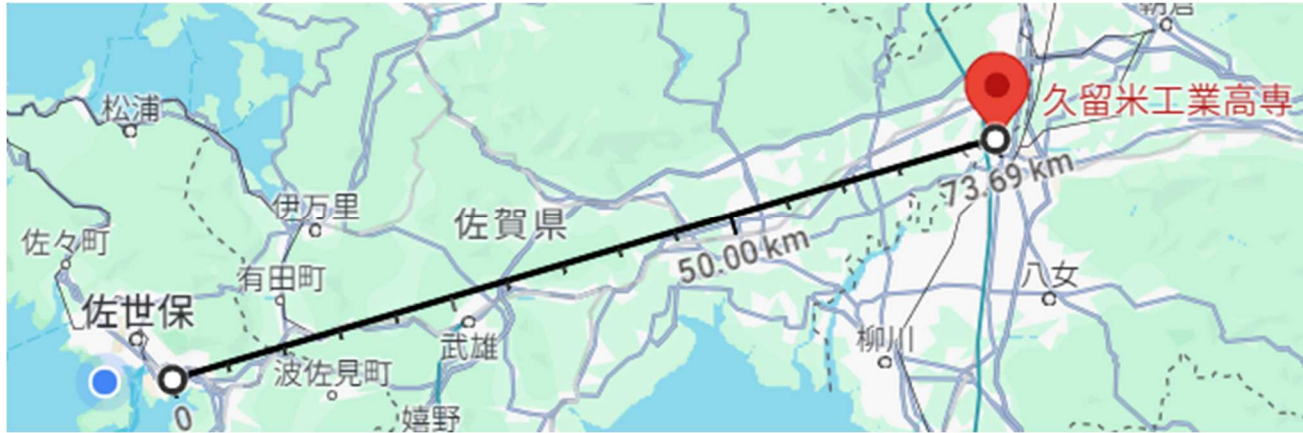
西彼農業	食料サイエンス	40	49	34	6	—	—	27	13	40
	生活デザイン	40	26	30	2	—	—	14	18	32
	計	80	75	64	8	0	0	41	31	72
長崎工業	機械	40	39	31	8	1	—	39	1	40
	機械システム	40	41	28	10	2	—	39	1	40
	電気	40	43	29	10	1	—	40	0	40
	電子工学	40	44	30	10	0	—	37	3	40
	情報技術	40	59	30	10	0	—	33	7	40
	建築	40	52	30	10	0	—	34	6	40
	工業化学 インテリア	40	39	36	4	0	—	32	8	40
	計	320	367	243	72	5	0	262	58	320
佐世保工業	機械	40	37	26	12	2	—	38	2	40
	電子機械	40	48	28	11	1	—	39	1	40
	電気	40	38	33	7	0	—	35	5	40
	電子工学	40	41	30	10	0	—	37	3	40
	建築	40	50	25	15	0	—	35	5	40
	土木	40	40	31	7	2	—	37	3	40
	計	240	254	173	62	5	0	221	19	240

【資料8】

長崎県 公立高等学校入学者選抜実施状況（直近5年間より抽出）

	R5	R4	R3	R2	H31
長崎工業	1.2	0.8	1.1	1.3	1.1
大村工業	1	0.7	1.1	1	1.1
島原工業	0.7	0.4	1	0.9	0.8
佐世保工業	1.3	0.9	1.2	1.1	1.1
鹿町工業	0.5	0.7	0.4	0.9	0.9
佐世保北	1.1	1.1	1.1	1	1
佐世保西	0.9	1.2	1.1	1.1	1.1
佐世保南	1	1	1	0.9	1

【資料8】



【資料9】

令和5年度 公立高等学校・県立中学校生徒募集定員

I 公立高等学校
(全日制の課程)
[県立高等学校]

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	学 級 数	参 考 事 項
長 崎 東	普 通 ・ 国 際	280(160)	7	※募集定員280名については、普通科・国際科のくくり募集とする。 ()内の数字は、併設の県立長崎東中学校以外からの募集定員を内数で示す。
		※ { 普通科200 国際科 80		
長 崎 西	普 通	200	5	
	理系コース	80	2	
長 崎 南	普 通	240	6	
長 崎 北	普 通	240	6	
長 崎 北 関	普 通	200	5	1学級減
	理 探 究	0	0	募集停止
	文 理 探 究	80	2	新設
佐 世 保 南	文 理 探 究	160	4	2学級減
	文 理 探 究	80	2	新設
佐 世 保 北	普 通	240(120)	6	()内の数字は、併設の県立佐世保北中学校以外からの募集定員を内数で示す。
佐 世 保 西	普 通	240	6	
宇 島	普 通	40	1	
	普 通	160	4	1学級減
	理 探 究	0	0	募集停止
	文 理 探 究	80	2	新設
諫 早	普 通	280(160)	7	()内の数字は、併設の県立諫早高等学校附属中学校以外からの募集定員を内数で示す。
西 諫 早	普 通	240	6	
大 村	普 通	80	2	
	普 通	200	5	1学級減
	数 理 探 究	0	0	募集停止
	文 理 探 究	80	2	新設
	家 政 通	40	1	
猶 興 館	家 政 通	120	3	
	理 探 究	0	0	募集停止
	文 理 探 究	40	1	新設
松 浦	地 域 科 学 (普 通)	80	2	
	商 業 通	40	1	
対 馬	商 業 通	120	3	
	商 業 通	40	1	
	国 際 文 化 交 流 通	40	1	
豊 上 対 玉	普 通	40	1	
志 岐	普 通	80	2	
五 岐 島	普 通	160	4	
	普 通	160	4	
	衛 生 看 護 通	40	1	
五 奈 島 南	普 通	80	2	
奈 大 西	普 通	40	1	
国 後	普 通	80	2	
	普 通	80	2	
	普 通	120	3	

出典：長崎県 HP

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kanko-kyoiku-bunka/shochuko/schooljoho/bosyu-school/>

【資料9】

小	浜	普	通	40	1	
口	加	合	ス	40	1	
		普	通	54	}	
		福	社	26		2
		普	通			
		グ	ス	40	1	
川	棚	生	合	80	2	
		活	通	40	1	
波	佐	普	通	60	}	
		美	芸	20		2
		商	業	40	1	
北	松	普	通	40	1	
上	五	普	通	80	2	1学級減
		電	報	40	1	
中	五	普	通	40	1	
島	原	農	業	40	1	
		食	品	40	1	
		生	活	40	1	
諫	早	農	業	40	1	
		動	学	40	1	
		環	学	40	1	
		境	造	40	1	
		農	木	40	1	
		バ	芸	40	1	
		食	学	40	1	
		生	学	40	1	
北	松	生	産	40	1	
		食	通	40	1	
		生	学	40	1	
西	彼	食	ス	40	1	
		料	ン	40	1	
		生	イ	40	1	
長	崎	機	械	40	1	
		電	ム	40	1	
		子	学	40	1	
		情	術	40	1	
		建	学	40	1	
		工	ア	40	1	
佐	世	機	械	40	1	
		電	械	40	1	
		子	学	40	1	
		子	学	40	1	
		建	学	40	1	
		土	木	40	1	
鹿	町	機	械	40	1	
		電	学	40	1	
		子	術	40	1	
		木	ム	40	1	
島	原	機	子	40	1	
		電	術	40	1	
		建	術	40	1	

【資料9】

大村工業	機械システム	機械	80	2	
	電気	電気	40	1	
	電子工学	電子工学	40	1	
	建設工業	建築業	40	1	
	化学工学	化学工学	40	1	
佐世保商業	会計ビジネス	会計	80	2	
	情報マーケティング*	情報	80	2	
	国際コミュニケーション	国際	40	1	
島原商業	商情	商業	40	1	
	報処	報処	40	1	
	家	家政	40	1	
諫早商業	商情	商業	160	4	
	情	報	40	1	
	国際コミュニケーション	国際	40	1	
志岐商業	商情	商業	80	2	
	報処	報処	40	1	
長崎鶴洋	水産	水産	80	2	
	総合	総合	80	2	
長崎明誠	総合	総合	160	4	
佐世保東翔	総合	総合	120	3	
大村城南	総合	総合	160	4	
平島海陽	総合	総合	40	1	
五島原南	総合	総合	80	2	
清原南峰	総合	総合	80	2	
合計			8,640	216	

(備考) 特別の理由がある学校においては、教育委員会と協議の上、実情に応じ、定員を超えて入学を許可することができる。

[市立高等学校]

学校名	学科名	募集定員	学級数	参考事項
長崎商業	情報国際ビジネス	0	0	募集停止
	総合ビジネス	160	4	新設
	スポーツビジネスコース	40	1	新設
	情報	40	1	新設
合計		240	6	

(全日制公立計)

	募集定員	学級数	参考事項
県立計	8,640	216	
市立計	240	6	
合計	8,880	222	

【資料9】

(定時制の課程)

[県立高等学校]

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	学 級 数	参 考 事 項
鳴 滝 佐 世 保 中 央	普 通	40	1	昼間部
	商 業	40	1	
	普 通	40	1	
	普 通	40	1	
	エンカレッジコース 商 業	40	1	
	エンカレッジコース	40	1	
島 原 諫 早 大 村 五 島 長 崎 工 業 佐 世 保 工 業	普 通	40	1	昼間部
	普 通	40	1	
	普 通	40	1	
	普 通	40	1	
	建 築 技 術	40	1	
	工 業 技 術	40	1	
合 計		560	14	

(備考) 特別の理由がある学校においては、教育委員会と協議の上、実情に応じ、定員を超えて入学を許可することができる。

(通信制の課程)

[県立高等学校]

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	参 考 事 項
鳴 滝	普 通	300	
佐 世 保 中 央	普 通	300	
合 計		600	

(離島留学に関する学科・コース等)

学 校 名	学 科 名	コ ー ス 名 等	募 集 定 員	参 考 事 項
対 馬	国 際 文 化 交 流		※40	
壱 岐	普 通	東アジア歴史・中国語	20程度	
五 島	普 通	ス ポ ー ツ	20程度	
五 島 南	普 通	夢 ト ラ イ	20程度	
奈 留	普 通	イングリッシュ・フレンチ・スペイン	※10程度	

※対馬高校については再掲であり、奈留高校については定員40(再掲)の枠内で受け入れる。

II 県立中学校

学 校 名	募 集 定 員	学 級 数	参 考 事 項
長 崎 東	120	3	
佐 世 保 北	120	3	
諫早高等学校附属	120	3	
合 計	360	9	

【資料9】

令和6年度 公立高等学校・県立中学校生徒募集定員

I 公立高等学校
(全日制の課程)
[県立高等学校]

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	学 級 数	参 考 事 項
長 崎 東	普 通 ・ 国 際	280(160)	7	※募集定員280名については、普通科・国際科のくり募集とする。 ()内の数字は、併設の県立長崎東中学校以外からの募集定員を内数で示す。
		※ { 普通科200 国際科 80		
長 崎 西	普 通	200	5	
	理系コース	80	2	
長 崎 南	普 通	240	6	
長 崎 北	普 通	240	6	
長 崎 北 陽 台	普 文 理 探 究 通	200	5	
	文 理 探 究 通	80	2	
佐 世 保 南	普 文 理 探 究 通	160	4	
	文 理 探 究 通	80	2	
佐 世 保 北	普 文 理 探 究 通	240(120)	6	()内の数字は、併設の県立佐世保北中学校以外からの募集定員を内数で示す。
佐 世 保 西	普 文 理 探 究 通	240	6	
宇 島	普 文 理 探 究 通	40	1	
	普 文 理 探 究 通	160	4	
	普 文 理 探 究 通	80	2	
諫 早	普 文 理 探 究 通	280(160)	7	()内の数字は、併設の県立諫早高等学校附属中学校以外からの募集定員を内数で示す。
西 諫 早 陵 東 村	普 文 理 探 究 通	240	6	
	普 文 理 探 究 通	80	2	
大 村	普 文 理 探 究 通	200	5	
	文 家 理 探 究 政	80	2	
	文 家 理 探 究 政	40	1	
猶 興 館	普 文 理 探 究 通	120	3	
	文 理 探 究 通	40	1	
松 浦	地 域 科 学 (普 通)	80	2	
	商 業 通 業 流 通	40	1	
対 馬	商 業 通 業 流 通	120	3	
	商 業 通 業 流 通	40	1	
	国 際 文 化 交 流 通	40	1	
豊 上 老 五	普 文 理 探 究 通	40	1	
	普 文 理 探 究 通	80	2	
	普 文 理 探 究 通	160	4	
	普 文 理 探 究 通	160	4	
	衛 生 看 護 通	40	1	
五 島 南 留 崎 杵 見	衛 生 看 護 通	80	2	
	普 文 理 探 究 通	40	1	
	普 文 理 探 究 通	80	2	
西 国 彼	普 文 理 探 究 通	80	2	
	普 文 理 探 究 通	120	3	

【資料9】

大村工業	機械システム	80	2	
	電気工学	40	1	
	電子工学	40	1	
	建築	40	1	
	建設工業	40	1	
	化学工学	40	1	
佐世保商業	会計ビジネス	80	2	
	情報マーケティング	80	2	
	国際コミュニケーション	40	1	
島原商業	商業	40	1	
	情報処理	40	1	
	家政	40	1	
諫早商業	商業	160	4	
	情報	40	1	
	国際コミュニケーション	40	1	
志岐商業	商業	80	2	
	情報処理	40	1	
長崎鶴洋	水産	80	2	
	総合	80	2	
長崎明誠	総合	160	4	
佐世保東翔	総合	120	3	
大村城南	総合	160	4	
大平戸	総合	40	1	
五島海陽	総合	80	2	
島原南	総合	80	2	
清峰	総合	160	4	
合計		8,640	216	

(備考) 特別の理由がある学校においては、教育委員会と協議の上、実情に応じ、定員を超えて入学を許可することができる。

[市立高等学校]

学校名	学科名	募集定員	学級数	参考事項
長崎商業	総合ビジネス (スポーツビジネスコースを含む)	200	5	
	情報	40	1	
合計		240	6	

(全日制公立計)

	募集定員	学級数	参考事項
県立計	8,640	216	
市立計	240	6	
合計	8,880	222	

【資料9】

(定時制の課程)

[県立高等学校]

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	学 級 数	参 考 事 項
鳴 滝 佐 世 保 中 央	普 通	40	1	昼間部
	商 業	40	1	
	普 通	40	1	
	普 通	40	1	
	エンカレッジコース 商 業	40	1	
	エンカレッジコース 商 業	40	1	
島 原 諫 早 大 村 五 島 長 崎 工 業 佐 世 保 工 業	普 通	40	1	昼間部
	普 通	40	1	
	普 通	40	1	
	普 通	40	1	
	建 築 技 術	40	1	
	工 業 技 術	40	1	
合 計		560	14	

(備考) 特別の理由がある学校においては、教育委員会と協議の上、実情に応じ、定員を超えて入学を許可することができる。

(通信制の課程)

[県立高等学校]

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	参 考 事 項
鳴 滝	普 通	300	
佐 世 保 中 央	普 通	300	
合 計		600	

(離島留学に関する学科・コース等)

学 校 名	学 科 名	コ ー ス 名 等	募 集 定 員	参 考 事 項
対 馬	国 際 文 化 交 流		※40	
老 岐	普 通	東アジア歴史・中国語	20程度	
五 島	普 通	ス ポ ー ツ	20程度	
五 島	普 通	夢 ト ラ イ	20程度	
奈 留	普 通	イングリッシュ・アイランド・スクール	※10程度	

※対馬高校については再掲であり、奈留高校については定員40(再掲)の枠内で受け入れる。

II 県立中学校

学 校 名	募 集 定 員	学 級 数	参 考 事 項
長 崎 東	120	3	
佐 世 保 北	120	3	
諫早高等学校附属	120	3	
合 計	360	9	

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均	
総合型選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
学校推薦型選抜	募集人数	16人	16人	20人	20人	24人	19人	
	延べ人数	志願者数	24人	18人	28人	18人	29人	23人
		受験者数	23人	18人	28人	18人	29人	23人
		合格者数	20人	18人	24人	18人	28人	21.6
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	24人	18人	28人	18人	29人	23.4
		受験者数	23人	18人	28人	18人	29人	23.2
		合格者数	20人	18人	24人	18人	28人	21.6
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0	
入学者数	20人	18人	24人	18人	28人	21.6		
一般選抜	募集人数	24人	24人	20人	20人	16人	20.8	
	延べ人数	志願者数	115人	93人	92人	59人	81人	88
		受験者数	114人	92人	91人	59人	81人	87.4
		合格者数	69人	71人	56人	50人	42人	57.6
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	2人	0人	1人	0人	0人	0.6
	実人数	志願者数	44人	31人	30人	27人	30人	32.4
		受験者数	43人	31人	30人	27人	30人	32.2
		合格者数	24人	26人	20人	24人	16人	22
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数		1人	0人	0人	0人	0人	0.2	
入学者数	23人	26人	20人	24人	16人	21.8		
共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
合計	募集人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人	
	延べ人数	志願者数	139人	111人	120人	77人	110人	111人
		受験者数	137人	110人	119人	77人	110人	111人
		合格者数	89人	89人	80人	68人	70人	79人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	1人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	68人	49人	58人	45人	59人	56人
		受験者数	66人	49人	58人	45人	59人	55人
		合格者数	44人	44人	44人	42人	44人	44人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		1人	0人	0人	0人	0人	0人	
入学者数	43人	44人	44人	42人	44人	43人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40
入学定員充足率	1.08	1.10	1.10	1.05	1.10	1.09
歩留率	0.98	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
募集人数について：学校推薦型選抜、一般選抜はそれぞれ、募集人員を○名程度としており、2つの選抜を合わせた入学定員が40名である。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均	
総合型選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
学校推薦型選抜	募集人数	16人	16人	20人	20人	24人	19人	
	延べ人数	志願者数	20人	23人	30人	29人	28人	26人
		受験者数	20人	23人	30人	29人	28人	26人
		合格者数	20人	20人	24人	24人	28人	23.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	20人	23人	30人	29人	28人	26
		受験者数	20人	23人	30人	29人	28人	26
		合格者数	20人	20人	24人	24人	28人	23.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0	
入学者数	20人	20人	24人	24人	28人	23.2		
一般選抜	募集人数	24人	24人	20人	20人	16人	20.8	
	延べ人数	志願者数	134人	117人	104人	90人	103人	109.6
		受験者数	131人	116人	103人	89人	103人	108.4
		合格者数	81人	83人	63人	68人	57人	70.4
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	3人	1人	1人	3人	3人	2.2
	実人数	志願者数	38人	37人	36人	27人	33人	34.2
		受験者数	38人	36人	36人	27人	33人	34
		合格者数	24人	24人	20人	20人	16人	20.8
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数		1人	0人	1人	2人	0人	0.8	
入学者数	23人	24人	19人	18人	16人	20		
共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
合計	募集人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人	
	延べ人数	志願者数	154人	140人	134人	119人	131人	136人
		受験者数	151人	139人	133人	118人	131人	134人
		合格者数	101人	103人	87人	92人	85人	94人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	1人	3人	3人	2人
	実人数	志願者数	58人	60人	66人	56人	61人	60人
		受験者数	58人	59人	66人	56人	61人	60人
		合格者数	44人	44人	44人	44人	44人	44人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		1人	0人	1人	2人	0人	1人	
入学者数	43人	44人	43人	42人	44人	43人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40
入学定員充足率	1.08	1.10	1.08	1.05	1.10	1.08
歩留率	0.98	1.00	0.98	0.95	1.00	0.98

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 募集人数について：学校推薦型選抜、一般選抜はそれぞれ、○名程度としており、2つの選抜を合わせて40名を定員としている。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均	
総合型選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
学校推薦型選抜	募集人数	16人	16人	20人	20人	24人	19人	
	延べ人数	志願者数	31人	32人	51人	29人	39人	36人
		受験者数	31人	32人	51人	29人	39人	36人
		合格者数	20人	20人	24人	24人	28人	23.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	31人	32人	51人	29人	39人	36.4
		受験者数	31人	32人	51人	29人	39人	36.4
		合格者数	20人	20人	24人	24人	28人	23.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0	
入学者数	20人	20人	24人	24人	28人	23.2		
一般選抜	募集人数	24人	24人	20人	20人	16人	20.8	
	延べ人数	志願者数	113人	96人	96人	76人	87人	93.6
		受験者数	111人	95人	96人	75人	87人	92.8
		合格者数	66人	64人	61人	57人	47人	59
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	0人	0人	4人	3人	1.6
	実人数	志願者数	59人	49人	54人	36人	45人	48.6
		受験者数	57人	49人	54人	35人	45人	48
		合格者数	24人	24人	20人	20人	16人	20.8
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数		1人	0人	0人	2人	2人	1	
入学者数	23人	24人	20人	18人	14人	19.8		
共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
合計	募集人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人	
	延べ人数	志願者数	144人	128人	147人	105人	126人	130人
		受験者数	142人	127人	147人	104人	126人	129人
		合格者数	86人	84人	85人	81人	75人	82人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	4人	3人	2人
	実人数	志願者数	90人	81人	105人	65人	84人	85人
		受験者数	88人	81人	105人	64人	84人	84人
		合格者数	44人	44人	44人	44人	44人	44人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		1人	0人	0人	2人	2人	1人	
入学者数	43人	44人	44人	42人	42人	43人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40
入学定員充足率	1.08	1.10	1.10	1.05	1.05	1.08
歩留率	0.98	1.00	1.00	0.95	0.95	0.98

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 募集人数について：学校推薦型選抜、一般選抜はそれぞれ、○名程度としており、2つの選抜を合わせて40名を定員としている。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均	
総合型選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
学校推薦型選抜	募集人数	16人	16人	20人	20人	24人	19人	
	延べ人数	志願者数	22人	22人	34人	47人	51人	35人
		受験者数	22人	22人	34人	46人	51人	35人
		合格者数	20人	20人	24人	24人	28人	23.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	22人	22人	34人	47人	51人	35.2
		受験者数	22人	22人	34人	46人	51人	35
		合格者数	20人	20人	24人	24人	28人	23.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0	
入学者数	20人	20人	24人	24人	28人	23.2		
一般選抜	募集人数	24人	24人	20人	20人	16人	20.8	
	延べ人数	志願者数	91人	70人	67人	73人	66人	73.4
		受験者数	88人	70人	66人	72人	65人	72.2
		合格者数	48人	52人	37人	58人	34人	45.8
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	3人	1人	1人	3人	2人	2
	実人数	志願者数	36人	31人	33人	36人	39人	35
		受験者数	36人	31人	32人	36人	38人	34.6
		合格者数	24人	24人	20人	20人	16人	20.8
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数		0人	1人	0人	0人	1人	0.4	
入学者数	24人	23人	20人	20人	15人	20.4		
共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
合計	募集人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人	
	延べ人数	志願者数	113人	92人	101人	120人	117人	109人
		受験者数	110人	92人	100人	118人	116人	107人
		合格者数	68人	72人	61人	82人	62人	69人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	1人	3人	2人	2人
	実人数	志願者数	58人	53人	67人	83人	90人	70人
		受験者数	58人	53人	66人	82人	89人	70人
		合格者数	44人	44人	44人	44人	44人	44人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		0人	1人	0人	0人	1人	0人	
入学者数	44人	43人	44人	44人	43人	44人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40
入学定員充足率	1.10	1.08	1.10	1.10	1.08	1.09
歩留率	1.00	0.98	1.00	1.00	0.98	0.99

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 募集人数について：学校推薦型選抜、一般選抜はそれぞれ〇〇名程度としており、2つの選抜を合わせて40名を定員としている。